ONKYO®

取扱説明書

CarryOn Music 10を使う

- パソコンのハードディスクにある音楽を聞きたい
- ハードディスクに音楽を登録したい
- インターネットから音楽をダウンロードしたい
- ポータブルプレーヤーに音楽を転送したい
- CDの音楽をパソコンのハードディスクに登録したい

ときにお読みください。

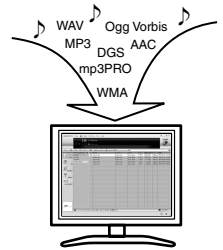
はじめに	2
録音/登録して聞く	24
再生する	50
プレイリストを作る	51
外部機器に転送する	58
インターネットを楽しむ	63
その他	66

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、
正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書、
オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内とともに
大切に保管してください。

主な特長

■ 音楽ファイルをまとめてライブラリ管理

様々な音楽フォーマットに対応し、音楽ファイルの整理や再生、CDの作成など、お手持ちのパソコンでまとめて管理できます。

GUI（グラフィカルユーザーインターフェース）の採用で操作も簡単にできます。

■ お好みの曲をポータブルプレーヤーへ転送

音楽ファイルをお手持ちのポータブルプレーヤーへ転送し持ち運ぶことができます。
（USBマスストレージクラスデバイス、MTPデバイスに対応※）

■ タイトル入力は Gracenote MusicID におまかせ

インターネットを通じて、Gracenote MusicIDで膨大なデータベースを検索し、タイトルやアーティストなどのデータを自動的に取得してくれます。

■ 24 ビット /96kHz 高品質音楽配信に対応

e-onkyo musicから簡単に高品質音楽配信を楽しむことができます。また、音楽を聴きながらインターネットも楽しめます。

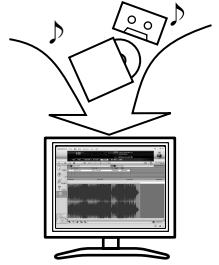
■ ポッドキャスト番組を楽しむ、持ち歩く

ニュースや音楽などのポッドキャスト番組を登録できます。更新やダウンロードも簡単。また、お気に入りの番組をポータブルプレイヤーに転送すれば、いつでもどこでも楽しめます。

※対応デバイス以外のポータブルプレーヤーでは音が鳴りません。

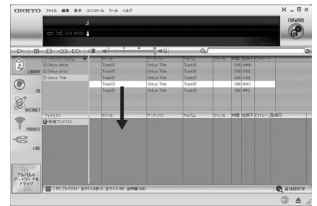
主な特長

■ アナログコレクションをデジタル化

レコードやカセットなどのアナログ音源も簡単にハードディスクへ取り込めます。録音時の自動曲分割やMP3、WAVEフォーマットでの保存はもちろん、取り込んでからも、曲の区切り調整やノイズ除去など、編集も思いのままです。

■ 自分だけの音楽 CD を作成

ライブラリ/プレイリストの曲が準備できたら、マウスでクリックするだけで簡単にオリジナルCDを作成できます。

■ 柔軟で高度なプレイリスト機能

「プレイリスト」を作成すれば、ミュージックライブラリからお好みの曲をドラッグ＆ドロップするだけで聞きたい順に再生できます。自動プレイリストにより、お好みの条件で自動的にプレイリストを生成することができます。

- CarryOn Musicの名称およびロゴはオンキヨー株式会社の商標です。CarryOn Musicは、(株)デジオンと共同開発されたソフトウエアです。
- Microsoft、Windows、Windows Media、Internet Explorer、Windows VistaおよびWindowsロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

- Windowsの正式名称はMicrosoft Windows Operating Systemです。
- DigiOnの名称およびロゴは株式会社デジオンの商標です。
- 音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenote® により提供されます。Gracenoteは、音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。詳細については、次のWebサイトをご覧ください：www.gracenote.com GracenoteからのCDおよび音楽関連データ: Copyright © 2000 - 2006 Gracenote. Gracenote Software: Copyright 2000 - 2006 Gracenote. この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の1つまたは複数を実践している可能性があります:#5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許（#6,304,523）用にOpen Globe, Inc.から提供されました。GracenoteおよびCDDBはGracenoteの登録商標です。Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴはGracenoteの商標です。Gracenoteサービスの使用については、次のWebページをご覧ください:www.gracenote.com/corporate

■ Gracenote使用条件

このアプリケーションには、カリフォルニア州エメリービルにあるGracenote, Inc.（以下「Gracenote」という）提供のソフトウェアが含まれています。このアプリケーションは、Gracenote提供のソフトウェア（以下「Gracenoteクライアント」という）を使用して、オンラインでのディスク識別を行ったり音楽関連情報を取得したりします。この音楽関連情報には、オンライン サーバー（以下「Gracenoteサーバー」という)から得られた名前、アーティスト、トラック、およびタイトル情報(以下「Gracenoteデータ」という）などが含まれ、これらは他の機能を実行するために使用されます。お客様は、このアプリケーション ソフトウェアに備わっているエンドユーザー機能を通じてのみGracenoteデータを使用できます。

お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteクライアント、およびGracenoteサーバーをお客様自身の個人的な非商用目的でのみ使用することに同意するものとします。お客様は、Gracenoteクライアントまたは任意のGracenoteデータをいかなる第三者にも譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteクライアント、またはGracenoteサーバーを、ここで明白に許可されている場合を除き、使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、これらの規制に違反した場合、Gracenoteデータ、Gracenoteクライアント、およびGracenoteサーバーの使用に関するお客様の非排他的なライセンスが終了することに同意するものとします。ライセンスが終了した場合、お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteクライアント、およびGracenoteサーバーの任意の使用およびすべての使用を終了することに同意するものとします。Gracenoteは、すべての所有権を含み、Gracenoteデータ、Gracenoteクライアント、およびGracenoteサーバーに関するすべての権利を留保します。お客様は、Gracenote, Inc.が本契約の下に、その独自の名前で、お客様に対してその権利を施行する可能性があることに同意するものとします。

Gracenoteサービスは、独特の識別子を使用して統計目的のクエリを追跡します。ランダムに割り当てられた数値による識別子の目的は、お客様の個人情報を集めることなくクエリの数を数えることです。詳細については、GracenoteサービスのGracenoteプライバシーポリシーに関するWebページをご覧ください。

お客様は、本ソフトウェアを使用することにより、Gracenoteソフトウェアが波形署名をGracenoteに送信する可能性があることに同意したものとします。波形署名は音楽自体に含まれている音波情報を抽出したものであり、Gracenoteサービスがデジタル音楽ファイルのアーティストおよびタイトル情報を認識するのに役立ちます。波形署名には、お客様またはお客様のコンピュータに関する情報は一切含まれておらず、波形署名の処理がお使いのコンピュータのパフォーマンスに大きな影響を与えることはありません。詳細については、FAQ（よくある質問）ページおよびGracenoteサービスのプライバシーポリシーに関するページをご覧ください。

お客様は、Gracenoteクライアントおよび Gracenoteデータの各項目を「現状有姿」にて使用することが許可されています。Gracenoteは、Gracenoteサーバーにある任意の Gracenoteデータの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切断言または保証しません。Gracenoteは、その独自の判断により、Gracenoteサーバーからデータを削除したり、データ カテゴリを変更したりする権利を留保します。GracenoteクライアントおよびGracenoteサーバーにエラーが発生しないこと、およびGracenoteクライアントおよびGracenoteサーバーの機能が中断されないことは、保証されていません。Gracenoteは、お客様に対し、Gracenoteが将来提供する可能性のある新しい高度なデータタイプまたはカテゴリ、あるいは追加のデータ タイプまたはカテゴリを提供する義務を負うことはなく、また、いつでも自由にそのオンラインサービスを停止できるものとします。

Gracenoteは、市販性の暗黙的な保証、特定目的に対する適合性、権原、および非違反性を含みこれに限らず、明示的または黙示的にかかわらず、すべての保証を否認します。Gracenoteは、お客様がGracenoteクライアントまたは任意のGracenoteサーバーの使用により得た結果について一切保証しません。Gracenoteは、すべての場合において、いかなる結果的損害、偶発的損害、利益の損失、または収入の損失に対しても一切責任を負いません。

目次

はじめに

主な特長 2
目次 5
ご使用の前に 7
本書で表示しているマークについて 9
本書で表示している画面について 9
使ってみよう 10
起動するには 10
終了するには 10
CarryOn Music10のアップデートについて 11
操作パネルについて 12
各操作パネルの名称 13
ライブラリモード（LIBRARY） 13
CDモード（CD） 17
インターネットモード（INTERNET） 18
ポッドキャストモード（PODCAST） 19
ライン録音/フォーマット変換モード（LINE/CONVERT） 20

録音/登録して聞く

ミュージックファイルを登録して聞く 24
ミュージックライブラリ機能について 24
ミュージックファイルを登録するには 25
登録した曲を聴く 27
登録した曲を並べ替える・検索する 28
いろいろな再生のしかた 29
グラフィックイコライザーを使って音楽を聞く 31
登録した曲を消去するには 32
音楽CDをライブラリに取り込む 33
Gracenote音楽認識サービスについて 34
外部機器から録音する 36
ファイルを分割する 38
MusicIDを利用してタイトルをつける 40
曲情報を編集する 43
ジャケット写真を取り込む 44
関連付けの設定をする 45
エフェクトをかける 46
音楽CDを作成する 49
音楽CDを作成する 49

再生する

音楽CDを再生する 50

プレイリストを作る

プレイリストを作る 51
新しいプレイリストを作るには 51
曲を検索して、プレイリストに追加するには 53
プレイリストの名前を変更するには 54
プレイリストの任意の位置や末尾に曲を挿入するには 54
グループを選択して新しいプレイリストを作るには 54
プレイリストの中で曲をコピーするには 54
プレイリストを削除するには 55
プレイリストを書き出すには 56
プレイリストを読み込むには 57
一度に複数のプレイリストを読み込むには 57

外部機器に転送する

ポータブルプレーヤーへ転送する 58
ライブラリ/プレイリストをポータブルプレーヤーへ転送する 58
ポッドキャストの番組をポータブルプレーヤーへ転送する 62

インターネットを楽しむ

インターネット機能を使う 63
ポッドキャストの楽しみ方 64
ポッドキャスト番組を登録する 64

目次

その他

オプション設定 66
再生 66
CD取り込み 66
録音デバイス 67
ライン入力録音 67
保存 68
CD 68
CD作成 69
Podcast 69
再生デバイス 70
環境 70
ライブラリ 71
関連付け（Windows®XPの場合） 71
困ったときは 72
用語集 75
ショートカットキー一覧 78

ご使用の前に

■ 著作権について

音楽（外国の曲を含む）は著作物として著作権法により保護されています。市販の音楽CDや放送される音楽は、個人で楽しむ場合に限り複製（ミュージックファイルを作成）することができますが、インターネットのホームページ等にMP3、WMA、WAVE、OGG Vorbisなどの音楽データを掲載したり、作成した音楽データを私的範囲を超えて配布・配信する行為は著作権者（レコード業界を含む）に無断で行うと著作権法に違反することとなりますので、十分にご注意ください。

■ 動作環境

OS（32ビット版）
Windows Vista®、Windows® XP* SP2以降日本語版
* システム管理者権限（Administrator）でのみ使用可能です。
※64ビット版には対応していません。

CPU（32ビット（x86）または64ビット（x64）のプロセッサ）
Windows Vista　1GHz以上
Windows XP　800MHz以上

ハードディスク必要容量
インストール時 200MB以上
※音声のデータサイズが大きいため、作業領域と保存用に数百MBの空き容量のあるハードディスクをお勧めします。
※お使いのハードディスクのフォーマット形式や確保容量などにより、必要容量は多少異なります。

メモリ
Windows Vista　1GB以上
Windows XP　256MB以上

画面
1024×768ピクセル以上、16ビット以上（32ビット以上推奨）

必要周辺機器
CD-ROMドライブ（または相当品）
※CarryOn Music 10の音楽CD作成機能をお使いいただくには、CD-R/RWドライブ（または相当品）が必要です。
CD-ROMドライブはCarryOn Music 10をインストールするために必要です。
※一部CD-ROMドライブで音楽CDを読み込めない場合があります。

その他
インターネット アクセス機能（CarryOn Music 10のアップデートおよびMusicID利用時に必要）

Windowsについて
Windows日本語版が現在の状態で正しく起動できることを確認してください。

必要な動作環境を満たすパソコンであっても、パソコンシリーズ固有の設計仕様やお客様の使用環境の違いにより、本製品の動作が正常に行われない機種があります。本製品の制限事項や動作確認情報についての詳細は、弊社ホームページにてご確認ください。

ご使用の前に

■ サウンド（曲・効果音）データについて

本ソフトウェアで作成したサウンド（曲・効果音）データは、著作権法により保護されています。お客様は、サウンドデータそのものを商業的に利用する場合を除き、自由にサウンドデータを利用できます。ただし、サウンドデータを著作者に無断で改変し、配布することはできません。

■ 対応フォーマットについて

CarryOn Music 10で対応しているフォーマットは以下のとおりです。

再生　　　　WAV、MP3（mp3PRO）、WMA、AAC*、Ogg Vorbis、DGS
CD取り込み　WAV、MP3（mp3PRO）、WMA、Ogg Vorbis
外部録音　　WAV、MP3（mp3PRO）、WMA、Ogg Vorbis、DGS
ファイル変換　可能なファイル変換は以下のとおりです。
　MP3からWAV、WMA、Ogg Vorbisへの変換
　WAVからWMA、Ogg Vorbis、MP3への変換
　DGSからWAV、WMA、Ogg Vorbis、MP3への変換
　※WMA、AAC、Ogg Vorbisは変換元としては対応していません。

* 著作権保護されていないファイルのみ

■ ソフトウェア使用許諾契約について

本製品に含まれているソフトウェアを開封される前に必ずお読みください。
本製品に含まれているソフトウェアを開封されると、本契約の内容を承諾したことになります。本契約の内容に同意できない場合は、ソフトウェアのセットアップ（インストール）を行わないでください。

使用許諾契約書

本使用許諾契約書（以下、本契約書）は、オンキヨー株式会社（以下、弊社）が提供するソフトウェアと、それに付属するマニュアルなどの印刷された資料に関する使用条件を定めるものです。

第1条　（定義）

1. 「本ソフトウェア」とは、本契約書とともに提供されるソフトウェア（製品名「CarryOn Music」ライセンス数1）、フォント、チュートリアルファイル、ヘルプファイルなどの使用方法を説明したデータなどデジタル情報の一部または全部を指します。なお、本ソフトウェアに含まれる第三者の著作権に関しても、本契約書が適用されます。
2. 「関連資料」とは、本契約書とともに提供されるマニュアルなどの印刷された資料を指します。
3. 「お客様」とは、本契約とともに提供された本ソフトウェアを含む製品を購入し本契約書に同意いただいた個人または法人を指します。

第2条（使用条件）

1. お客様は、本ソフトウェアを1台のコンピュータにセットアップ（インストール）してご利用いただけます。
2. お客様のうち特定のただ一人が使用するコンピュータが複数ある場合には、本ソフトウェアを同時に使用しないという条件の下、特定の個人ただ一人が使用するコンピュータに限り複数セットアップすることができます。
3. 本契約書は、本ソフトウェアの不具合修正などの目的で改訂したソフトウェアに対しても適用されるものとします。ただし、改訂されたソフトウェアと改訂前のソフトウェアは同一のコンピュータにセットアップされている場合に限ります。

第3条（制限）

お客様は、下記の項目を行うことはできません。

1. 本契約書に定めのない、複数コンピュータへのセットアップ（インストール）または複製（コピー）。
2. 関連資料の複製（コピー）。
3. 本ソフトウェアに含まれるプログラムの改変またはカスタマイズ、リバースエンジニアリング。
4. 本ソフトウェアの第三者への再配布、再使用許諾。
5. 本ソフトウェア（複製物を含む）の貸与（レンタル）、疑似レンタル、中古品としての販売、譲渡。
6. 本ソフトウェアをネットワークコンピュータやサーバーから第三者が複製またはダウンロードできる状態にしておくこと。

前項までの規定は、本ソフトウェアを改訂した製品をご購入した場合にも継続して適用されます。

第4条（保証範囲）

1. 弊社は、本ソフトウェアまたは関連製品に物理的な瑕疵がある場合、お客様がご購入後30日間に限り、弊社の判断に基づき交換いたします。ただし、地震、火災などの天災もしくは戦争による破損、または、お客様のご購入後の故意、過失、誤った使用によって生じた破損についてはこの限りではありません。
2. 弊社は、本ソフトウェアの機能がお客様の使用目的と適合することを保証するものではありません。弊社は、本製品の物理的瑕疵について保証するものであり、本ソフトウェアまたは関連資料の使用または使用不能から生ずる直接的または間接的被害については一切責任を負いません。
3. 弊社は、本ソフトウェアを使ってお客様が行ったいかなる行為についても、その責任を負いません。

第5条（期間）

1. 本契約は、本契約が成立した時点、すなわち本ソフトウェアをセットアップ（インストール）した時点に始まり、お客様が本ソフトウェアの使用を停止するまで有効とします。お客様は、本ソフトウェアの使用を停止した時点で、本ソフトウェアおよび関連資料の一切を破棄するものとします。
2. お客様が本契約書に違反した場合は、本契約を解除してお客様の本ソフトウェアの使用を停止させることができます。弊社が、本ソフトウェアの停止を通知した場合には、お客様は速やかに本ソフトウェアおよび関連製品の一切をお客様の費用負担で弊社に返却するものとします。

第6条（一般条項）

本契約書に関して生じた紛争については、大阪地方裁判所を第一審の管轄裁判所とします。

本書で表示しているマークについて

説明の中の ライブラリ

ライン録音/フォーマット変換 のマークは、操作するときに使うモードを表しています。

本書で表示している画面について

説明の中の画面は、特に断りのない限り、Windows Vista®（一部Windows® XP）のものです。

使ってみよう

起動するには

お好きな方法で起動してください。

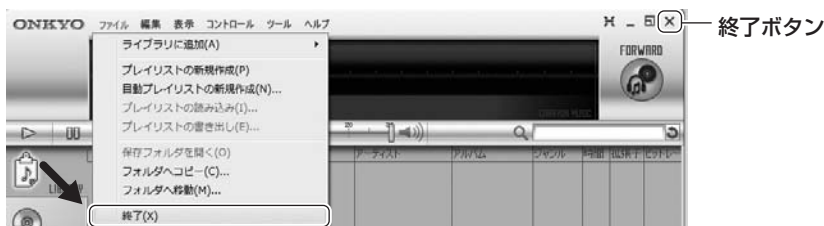
● ショートカットをダブルクリックして起動する

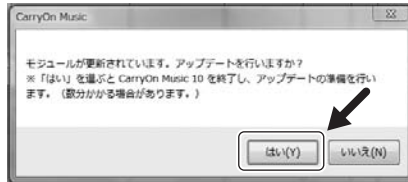
デスクトップのショートカットをダブルクリックすると、CarryOn Music（文中、CarryOn Musicと表記されているところはCarryOn Music 10のことを指しています。）が起動します。

●「スタート」メニューから起動する

「スタート］→［すべてのプログラム］→［ONKYO］→［CarryOn Music 10］を選択すると、CarryOn Musicが起動します。

終了するには

操作パネルのメニューバーの［ファイル］＞［終了］を選ぶと、CarryOn Musicが終了します。
終了ボタンをクリックしてもCarryOn Musicを終了することができます。

CarryOn Music10のアップデートについて

モジュールが更新されると、アップデートを行なうかどうか起動時毎に確認メッセージを表示します。アップデートを行なう場合は、「はい」を選択してください。

以降はメッセージに従って操作してください。

■ アップデート確認方法

バージョンを確認するには、メニューバーより［ヘルプ］＞［CarryOn Musicのバージョン情報］を選択してください。

※起動時ごとのアップデートの確認を行ないたくない場合

メニューバーより［ツール］＞［オプション設定］＞［環境］＞［起動時にバージョンの確認を行う］のチェックをオフにしてください。（☞70ページ）この設定のときは、メニューバーより［ヘルプ］＞［アップデートの確認］を行うと上記確認メッセージが表示されます。

使ってみよう

操作パネルについて

操作パネルの概要です。例はライブラリモードですが、モードによって表示される内容やボタンの働きが変わります。詳しくは各モードパネルの説明をご覧ください。

最小化ボタン
画面が最小化されます。元の画面に戻すには、タスクバーの［CarryOn Music］をクリックします。また、設定によりタスクトレイに入れることもできます。

最大化/元サイズボタン
標準サイズと最大化表示を切り替えることができます。

メニューバー
様々な操作や設定をします。

ミニプレーヤーボタン
ミニプレーヤー表示になります。

表示部
曲のタイトル、再生経過時間などを表示します。

曲の転送やCDへの取り込みなどを行います。

操作ボタン
曲の再生、停止、一時停止、録音、音量調整などを行います。

モードアイコン
各モードを切り替えます。

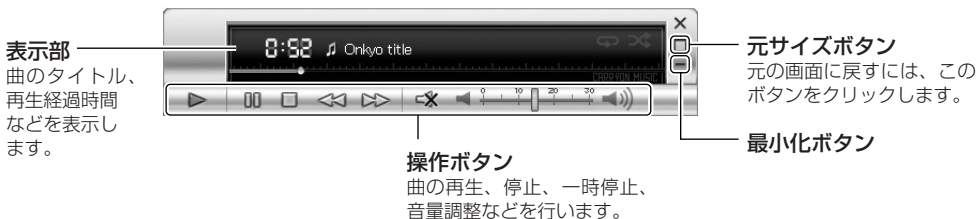
■ ミニプレーヤー

ライン録音/フォーマット変換モードではできません。

表示部
曲のタイトル、再生経過時間などを表示します。

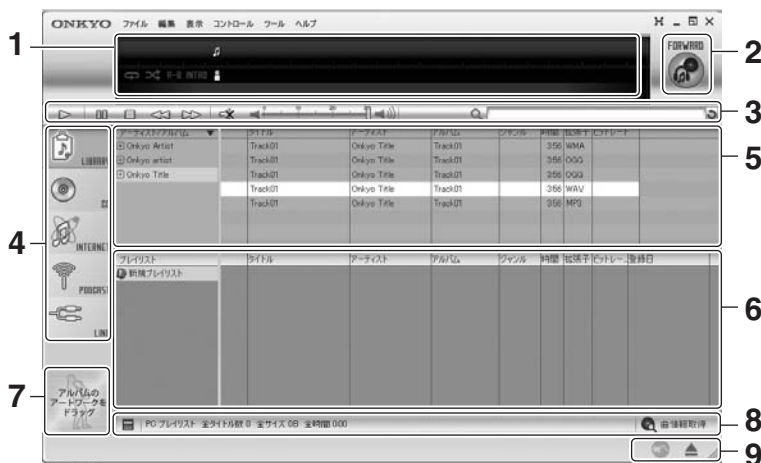
元サイズボタン
元の画面に戻すには、このボタンをクリックします。

最小化ボタン

操作ボタン
曲の再生、停止、一時停止、音量調整などを行います。

各操作パネルの名称

ライブラリモード（LIBRARY）

ライブラリ

ハードディスクの曲を再生したり、CDやポータブルプレーヤーに転送したりするモードです。

1. 再生情報エリア

曲の再生情報およびステータスを表示します。

■ REPEAT：

曲の再生をリピート（繰り返し）する場合にこのボタンを点灯させます。
ボタンをクリックするたびに

1曲リピート → 全曲リピート → リピート無し
（ボタン点灯）（ボタン点灯）（ボタン消灯）

と切り替わります。

■ RANDOM：

曲順をランダムに並べ替えて再生します。

■ A−B A-B：

指定の位置間で曲の再生をリピート（繰り返し）する場合に使用します。

1. **曲を再生しながら、ボタンをクリックする**
2. **A−B点間を下記のようにすると、**

A点確定 − B点確定
（リピート開始位置）（リピート終了位置）

A-B間の自動リピートを行い、再度ボタンを押すとキャンセルされます。

■ イントロ INTRO：

曲のイントロを5秒間再生します。

2. CD作成・ポータブル転送ボタン

マウスクリックでCD作成またはポータブルプレーヤーへ転送を選択します。

各操作パネルの名称

3. 基本操作エリア

曲の再生、一時停止、停止、前のトラック（巻き戻し）、次のトラック（早送り）を操作します。
「前のトラック」を押すと、曲の先頭へ移動し、長押しすると曲を聞きながら早戻しできます。
「次のトラック」を押すと、再生リストの中で次のトラックへ移動し、長押しすると曲を聞きながら早送りできます。

ボリュームおよびミュートの操作ができます。

曲の検索を行います。文字を入力すると、再生リストの中でヒットした結果がリストアップされます。

4. モードアイコン

ソースごとに分類しています。
ライブラリモード、CDモード、インターネットモード、ポッドキャストモード、ライン録音/フォーマット変換モードに分かれています。

5. 曲リスト

ライブラリリストはすべて（登録日順）、アーティスト/アルバム、アルバム、ジャンル、フォーマットで並び替えることができます。

アーティスト/アルバム ▼		タイトル	アーティスト ▲	アルバム	ジャンル	時間	拡張子	ビットレー
⊞ Artist1	♫	Onkyo title	Onkyo artist	Onkyo album	Jpop	5:27	WMA	160kbps
⊞ Artist2		Onkyo title	Onkyo artist	Onkyo album	Jpop	11:39	MP3	128kbps
⊞ Artist3		Onkyo title	Onkyo artist	Onkyo album	Jpop	11:39	MP3	128kbps
⊞ Artist4		Onkyo title	Onkyo artist	Onkyo album	Jpop	4:45	WMA	160kbps
⊞ Onkyo artist		Onkyo title	Onkyo artist	Onkyo album	Jpop	5:07	WMA	160kbps

すべて：
ライブラリに登録されている全ての曲を登録日順に表示します。

アーティスト/アルバム：
ライブラリに登録されている全ての曲をアーティスト/アルバム別に分類して表示します。

アルバム：
ライブラリに登録されている全ての曲をアルバム別で表示します。

ジャンル：
ライブラリに登録されている全ての曲をジャンル別で表示します。

フォーマット：
ライブラリに登録されている全ての曲をフォーマット別で表示します。

6. プレイリスト

ミュージックライブラリにある曲を自由に選択して、オリジナルのリストを作成します。

7. ジャケット写真エリア

取り込んだジャケット写真を表示します。

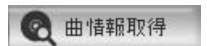
8. ローカルアイコンエリア

各モードに必要な機能が並んでいます。

プレイリスト表示切り替え：

ライブラリのリストとプレイリスト表示を切り替えるためのアイコンです。

曲情報取得 (MusicID):

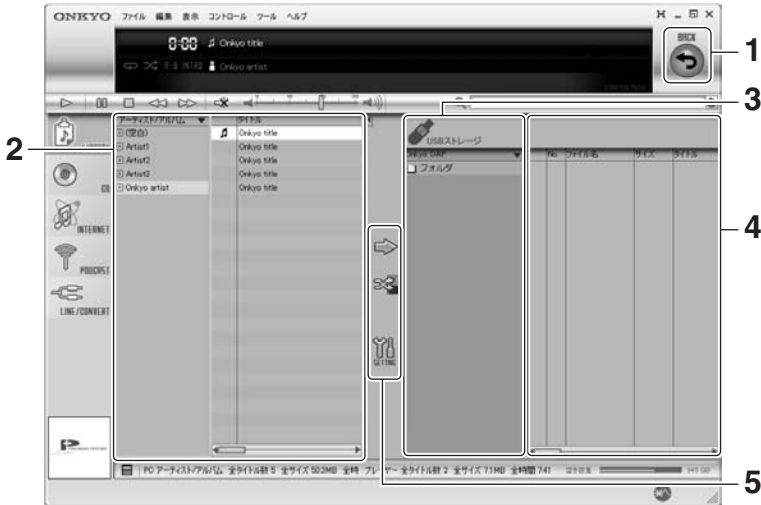
曲の波形データを分析し、Gracenoteメディアデータベースと照合することで曲情報を取得します。MDやカセットテープなどアナログ録音時の情報取得や、タイトル不明のリスト情報を簡単に取得してくれる便利な機能です。

※音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。
詳細は、Gracenote®社のホームページwww.gracenote.comをご覧ください。

9. グローバルアイコンエリア

ポータブルプレーヤーの安全な取り外しを行います。

CDの取り出しを行います。

マニュアル転送

任意の曲を選んでポータブルプレーヤーに転送するモードです。

1: **戻るボタン**

転送モードを終了し、ライブラリモードに戻ります。

2: **ライブラリリスト**

ポータブルプレーヤーに転送する元のライブラリリストの表示エリアです。

3: **ポータブルプレーヤー選択**

接続されているポータブルプレーヤーの一覧を表示します。一覧から選択したポータブルプレーヤーに対して転送を行います。

4: **ポータブルプレーヤー曲リスト**

3で選択されたポータブルプレーヤーの曲リストを表示します。

5: **転送アイコン**

転送アイコン：

表示されたアルバムまたはプレイリストの転送を行います。

オートフィル転送アイコン：

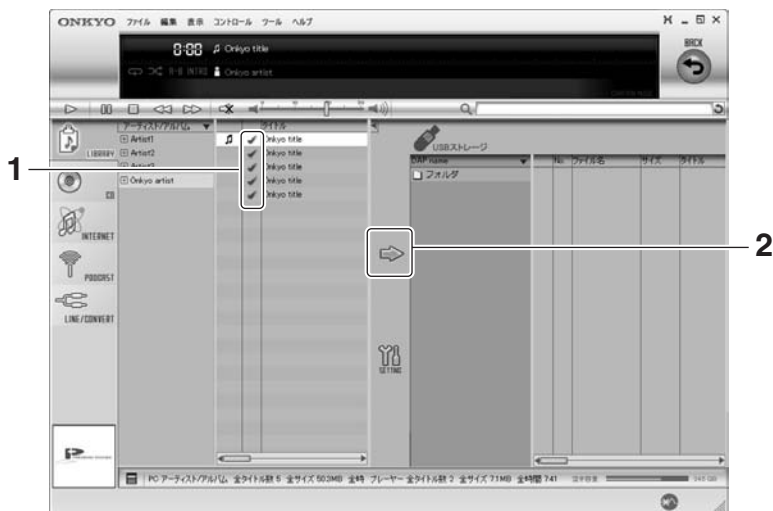
ポータブルプレーヤーの容量に合わせてランダム転送を行います。

転送設定アイコン：

転送の詳細設定を行います。

各操作パネルの名称

同期転送

ポータブルプレーヤーの曲リストとライブラリの曲リストを同期させる転送方式です。

1: 転送チェックマーク

同期転送する曲にチェックします。

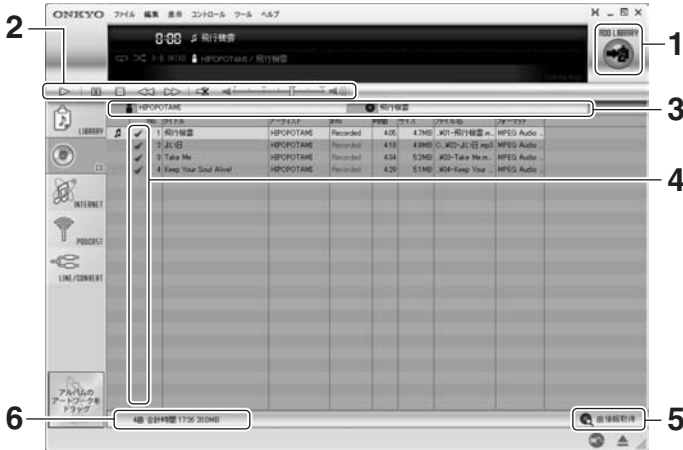
チェックされている曲をポータブルプレーヤーに転送します。チェックされていない曲はポータブルプレーヤーから削除されます。

2: 転送アイコン

同期転送をスタートさせます。

これを押すとチェックされている曲をポータブルプレーヤーへ転送します。

CDモード（CD）

音楽CDを再生したり、ライブラリへ録音することができます。

1: ライブラリへ追加（［ADD LIBRARY］ボタン）

CDからライブラリへ録音するためのボタンです。チェックされている曲をライブラリへ録音します。

2: 基本操作エリア

曲の再生、一時停止、停止、前のトラック（巻き戻し）、次のトラック（早送り）を操作します。
「前のトラック」を押すと、曲の先頭へ移動し、長押しすると曲を聞きながら早戻しできます。
「次のトラック」を押すと、再生リストの中で次のトラックへ移動し、長押しすると曲を聞きながら早送りできます。

ボリュームおよびミュートの操作ができます。

3: アーティストおよびアルバムのタイトル情報

CD（アルバム）のタイトルが表示されます。Gracenoteメディアデータベースより取得した情報はここに表示されます。データベース上にタイトルが無いアルバムについてはキーボードより入力することができます。

4: チェックマーク

ライブラリに録音したい曲をチェックします。

5: 曲情報取得

インターネットのGracenoteメディアデータベースにアクセスして曲情報を取得し、曲のタイトル情報を表示します。

※音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote®社のホームページwww.gracenote.comをご覧ください。

6: 曲の合計数と合計サイズを表示します。

各操作パネルの名称

インターネットモード（INTERNET）

本製品に内蔵したブラウザでサイトを開いて、ミュージックコンテンツを試聴・購入します。基本的なウェブブラウズ機能に加えて、リンクを登録するお気に入り機能を持ちます。また、インターネットをしながらライブラリやCDの曲を楽しむことができます。

1: ウェブブラウズ機能

ホームページを表示：
現在選択されているホームページを表示します。（デフォルトではe-onkyo musicに設定されています）

戻る：
直前に表示したページに戻ります。最近表示したページをリストから選択することもできます。

進む：
「戻る」を実行する前に表示していたページを表示します。最近表示したページをリストから選択することもできます。

お気に入りに追加：
ページや試聴コンテンツをお気に入りに追加します。

表示しているページ、または選択しているリンクボタンをお気に入りに追加します。お気に入りリストからお気に入りを選択して、ページの表示やコンテンツの試聴が可能です。

2: アドレスバー

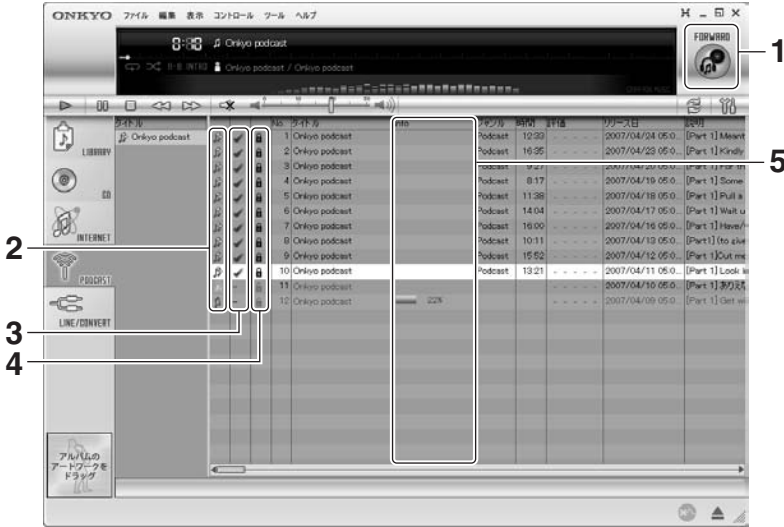
表示したいホームページのアドレスを入力できます。

3: お気に入りリスト表示切り替え：

お気に入りリストの表示/非表示を切り替えるためのアイコンです。

ポッドキャストモード（PODCAST）

ポッドキャスト

インターネットを使って配信されているポッドキャスト番組を登録すると、番組が更新されるたびに自動的にダウンロードされ、一覧が表示されます。ポータブルプレーヤーに簡単に転送することもできます。ビデオポッドキャストには対応していません。

1: 転送ボタン

チェックされている曲リストをワンタッチでポータブルプレーヤーに転送します。

2: 未再生マーク

未再生の曲につきます。

3: チェックマーク

ポータブルプレーヤーに転送する曲リストを選択します。

4: 保護マーク

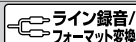
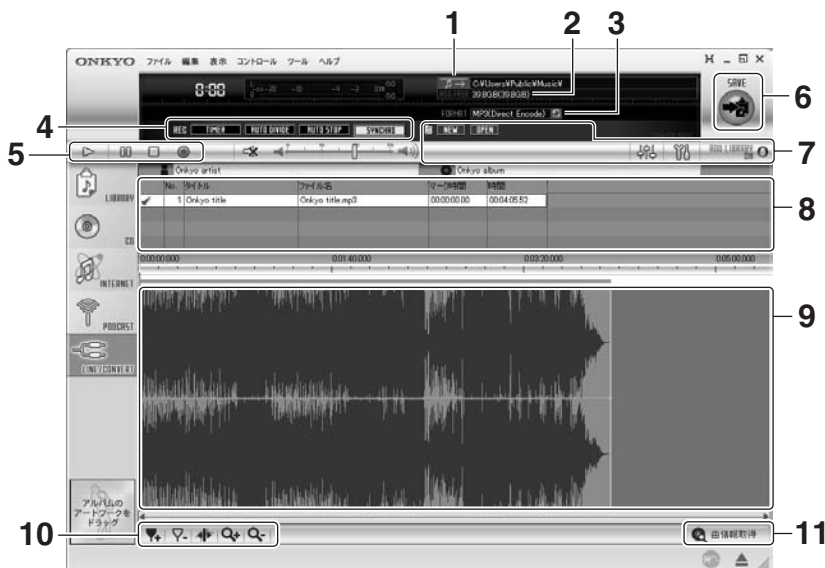
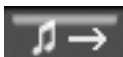
リストが更新されても削除されないように、お気に入りの番組を保護するためのアイコンです。

5: プログレスバー

各番組、各アイテムのダウンロード状態を表示します。

各操作パネルの名称

ライン録音/フォーマット変換モード（LINE/CONVERT）

ライン録音/フォーマット変換

ライブラリに登録されているミュージックファイルを編集したり、外部機器から音声を録音したりするときに使います。

1: ファイルの保存先アイコン

ボタンをクリックすると［フォルダ参照］ダイアログボックスが表示され、録音および読み込まれたミュージックファイルの保存先を設定します。

2: ハードディスクの空き容量

保存先のハードディスクの空き容量を表示します。

3: フォーマット選択

選択したミュージックファイルのフォーマットを指定します。

4: 録音設定ボタン

TIMER　AUTO DIVIDE　AUTO STOP　SYNCHRO

［TIMER（録音タイマーの設定）］ボタン：
［TIMER（録音タイマーの設定）］のオン/オフを切り替えます。クリックすると、［録音タイマーの設定］ダイアログボックスが表示され、録音開始時刻と録音終了時刻を設定します。

［AUTO DIVIDE（自動曲分割）］ボタン：
［AUTO DIVIDE（自動曲分割）］録音のオン/オフを切り替えます。［オプション］ダイアログボックスで設定した時間以上無音状態が続くと、自動的に波形を分割します。

［AUTO STOP（自動停止）］ボタン：
［AUTO STOP（自動停止）］録音のオン/オフを切り替えます。［オプション］ダイアログボックスで設定した時間以上無音状態が続くと、自動的に録音を停止します。

［SYNCHRO（シンクロ録音）］ボタン：
［SYNCHRO（シンクロ録音）］録音のオン/オフを切り替えます。［オプション］ダイアログボックスで設定した［音源の種類］のレベル以上の信号が入力されると、自動的に録音が開始されます。
シンクロ録音については、73ページも参照ください。

5: 基本操作ボタン

曲の再生、一時停止、停止、録音を行います。

録音ボタンを押すと録音待機状態になり、ポーズボタンを解除すると録音を開始します。停止ボタンを押すと停止します。再生ボタンを押すと録音したファイルを再生します。

6: SAVE（セーブ）ボタン

録音したファイルをハードディスクに保存します。［ADD LIBRARY ON］ボタンをオンにすると、録音/編集したミュージックファイルが、保存時にライブラリへ追加されます。オフにするとハードディスクには保存しますが、ライブラリには追加されません。

7: ファイル操作ボタン

［NEW（新規作成）］：
ミュージックファイルを新規作成します。

［OPEN（開く）］ボタン：
クリックすると［ファイルを開く］ダイアログボックスが表示され、既存のミュージックファイルを開きます。

［EFFECTOR（エフェクター）］パネルボタン：
このボタンを押すと、エフェクターパネルが別ウィンドウで開きます。

設定ダイアログボタン：
このボタンを押すと、詳細設定ダイアログが開きます。

［ADD（アッド） LIBRARY（ライブラリ） ON（オン）］ボタン：
このボタンを押すと、録音/編集したミュージックファイルが、保存時にライブラリへ追加されます。

8: リスト

録音および読み込まれたミュージックファイルの情報が表示されます。

9: 波形モニター

録音および読み込まれたミュージックファイルの波形を表示します。

10:編集ボタン

［マーカーの追加］ボタン：
クリックするとカーソルのポイントでマーカーを追加します（波形を分割します）。

［マーカーの削除］ボタン：
クリックするとカーソルの左側にあるマーカーが削除されます（分割された波形が統合されます）。

［カーソルの移動］ボタン：
クリックすると［カーソルの移動］ダイアログボックスが表示され、カーソルの位置を時間を入力して移動させます。

［拡大表示］ボタン：
［波形モニター］を拡大表示します。

［縮小表示］ボタン：
［波形モニター］を縮小表示します。

11:曲情報取得（MusicID）

Gracenote社が提供する音楽認識技術MusicIDを利用することで、MDやカセットテープからのアナログ録音時、簡単に曲情報を取得できます。

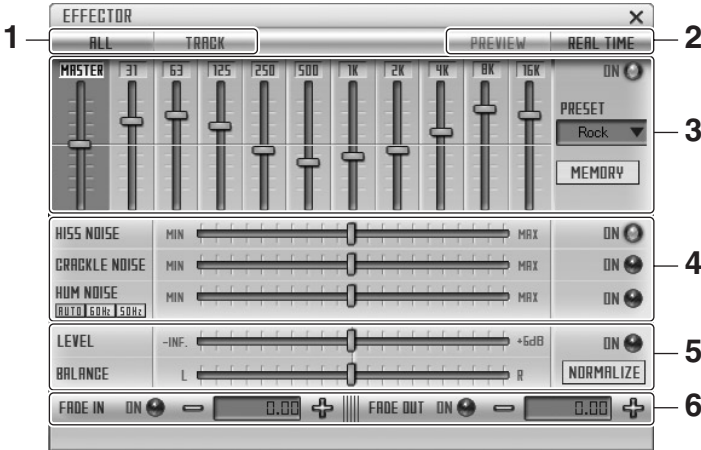
※ 音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote®社のホームページwww.gracenote.comをご覧ください。

各操作パネルの名称

エフェクターパネル

［EFFECTOR］パネルボタンをクリックすると表示されます。すべてのスライダーは、ダブルクリックでセンターにリセットされます。

1: ［ALL（全トラック）］ボタン

（オール）

［EFFECTOR（エフェクター）］パネルの設定を選択したすべてのトラックに対して有効にします。

［TRACK（個別トラック）］ボタン

（トラック）

［EFFECTOR（エフェクター）］パネルの設定を選択した特定のトラックのみ有効にします。

2: ［PREVIEW］ボタン

（プレビュー）

［PREVIEW］ボタンをクリックすると［プレビュー］ダイアログボックスが開いて、EFFECTORパネルでのエフェクト設定をノン・リアルタイムに処理してサウンドを試聴（プレビュー）することができます。プレビュー時間は、［5/10/30/60］秒の長さを選択できます。［プレビュー］ボタンをクリックすると、エフェクト処理後のサウンドが再生されます。

［REAL TIME］ボタン

（リアル タイム）

［REAL TIME］ボタンをクリックして［ON］の状態にし、再生しながらEFFECTORパネルの設定を変化させると、その結果がリアルタイムに再生音に反映されます。ただし、クラックルノイズリダクションなど処理が比較的重たいエフェクトの場合は、パソコンの性能によってはエフェクトの処理が間に合わない場合がありますので、そのような場合には［PREVIEW］ボタンでノン・リアルタイムでプレビューしてください。

3: ［EQUALIZER（イコライザー）］パネル

10バンドのイコライザーで音質をコントロールします。

4: ノイズエフェクトパネル

［HISS NOISE（ヒスノイズ）］パネル：
スライダーをドラッグしてヒスノイズのレベルを調節します。［ON］ボタンでオン/オフを切り替えます。

［CRACKLE NOISE（クラックルノイズ）］パネル：
スライダーをドラッグしてクラックルノイズのレベルを調節します。［ON］ボタンでオン/オフを切り替えます。

［HUM NOISE（ハムノイズ）］パネル：
スライダーをドラッグしてハムノイズのレベルを調節します。また、ハムノイズの原因となる電源の交流周波数の設定（［AUTO］、［60Hz］、［50Hz］）を設定します。［ON］ボタンでオン/オフを切り替えます。

5: レベル設定パネル

［ON］ボタンでオン/オフを切り替えます。

［LEVEL（レベル）］スライダー：
スライダーをドラッグしてミュージックファイルのレベルを調整します。

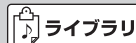
［BALANCE（バランス）］スライダー：
スライダーをドラッグしてミュージックファイルのステレオバランスを調整します。

［NORMALIZE（ノーマライズ）］ボタン：
クリックするとミュージックファイルを分析し、音声のピークが録音可能な最大レベルを超えない範囲で、できるだけ大きなレベルに自動的に調整を行います。

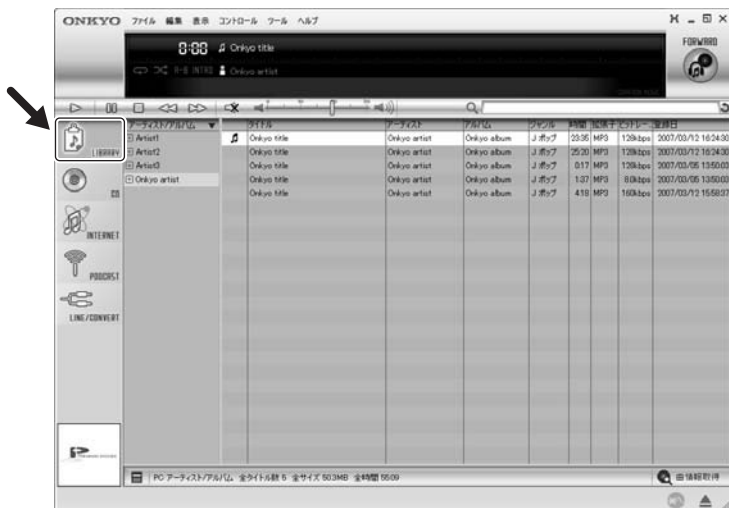
6: FADE IN（フェードイン） / FADE OUT（フェードアウト）

フェードインおよびフェードアウトの時間を1秒単位で設定します。［ON］ボタンでオン/オフを切り替えます。

ミュージックファイルを登録して聞く

ミュージックライブラリ機能について

ライブラリ

ハードディスクに入っているミュージックファイルの再生やファイル情報の編集、ファイル形式の変換を行います。CarryOn Musicで録音したミュージックファイルは、自動的にミュージックライブラリに登録されます。ミュージックライブラリでは、アーティスト、アルバムのグループ単位で音楽の再生ができます。たとえば、任意のアーティストを選択すれば、そのアーティストのすべての曲を聞くことができます。

1. ライブラリモードに切り替えます。

2. カテゴリーリストをクリックすることで、いろいろな再生条件を選択できます。

●すべて：全曲（登録日順に表示されます。）

●アーティスト/アルバム：アーティスト/アルバム別

●アルバム：アルバム別

●ジャンル：ジャンル別

●フォーマット：フォーマット別

3. 再生ボタンをクリックすると、再生が始まります。

ミュージックファイルを登録するには

ライブラリ

他のソフトウェアなどで作成され、すでにハードディスクに保存されているミュージックファイルを、ミュージックライブラリに追加できます。

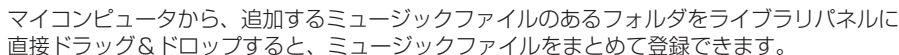
1. ライブラリモードに切り替えます。

2. メニューバーの［ファイル］＞［ライブラリに追加］＞［ファイル...］を選びます。

ファイルを選択するダイアログが表示されます。

3. 保存されているミュージックファイルを指定し、［開く］をクリックします。

選択したファイルが、ライブラリに追加されます。

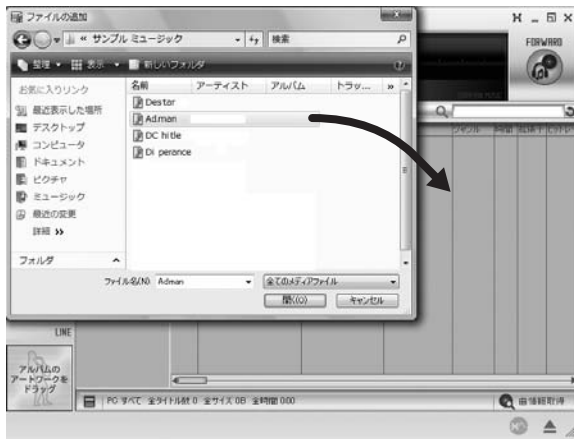
ヒント　マイコンピュータから、追加するミュージックファイルのあるフォルダをライブラリパネルに直接ドラッグ＆ドロップすると、ミュージックファイルをまとめて登録できます。

ミュージックファイルを登録して聞く

■ ドラッグ&ドロップで追加する

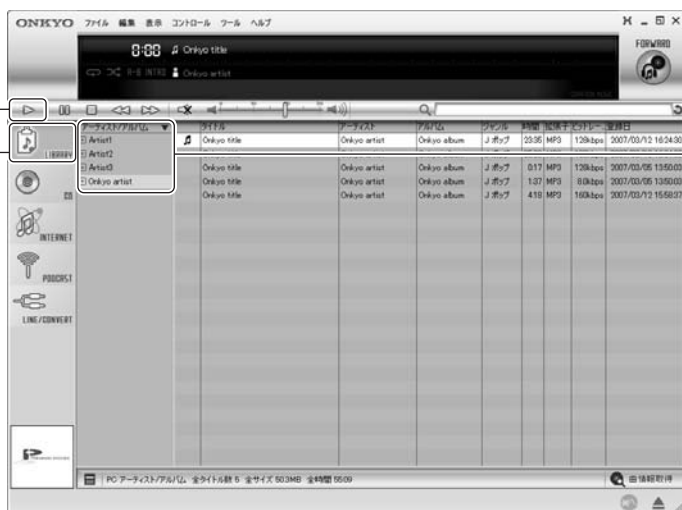
1. 追加するミュージックファイルのあるフォルダを開きます。
2. 追加するミュージックファイルを選択します（複数選択可）。

複数のミュージックファイルを選ぶときは、次のようにします。

- 連続した複数のミュージックファイルを選択するときは、Shiftキーを押しながらクリック
- 連続していない複数のミュージックファイルを選択するときは、 Ctrlキーを押しながらクリック
- フォルダごとドラッグ&ドロップすれば、その中にあるすべてのミュージックファイルをライブラリに追加することができます

3. ミュージックファイルを、ミュージックライブラリにドラッグ&ドロップします。

- プレイリストにドラッグ&ドロップすると、プレイリストとミュージックライブラリの両方に追加されます。プレイリストについては51〜57ページをご覧ください。
- 追加したミュージックファイルの情報を編集するときは、「曲情報を編集する」をご覧ください。（☞43ページ）

ミュージックファイルを登録後、何らかの事情で最初に登録したときとファイル配置が変わってしまった場合、CarryOn Music 10は自動的に登録情報の整合をとります。状態によりCarryOn Music 10のプレイリスト上からリスト情報が消去される場合があります。

登録した曲を聴く

ライブラリ

1. ライブラリモードに切り替えます。

2. ライブラリの中のミュージックファイルをダブルクリックするか、停止中に演奏したいミュージックファイルを選択し、再生ボタンをクリックします。

   音楽CDを登録した場合は、アルバム順でライブラリを並び替えて、聴きたい音楽CDのアルバム名を選択した状態で再生ボタンを押すと再生が始まります。

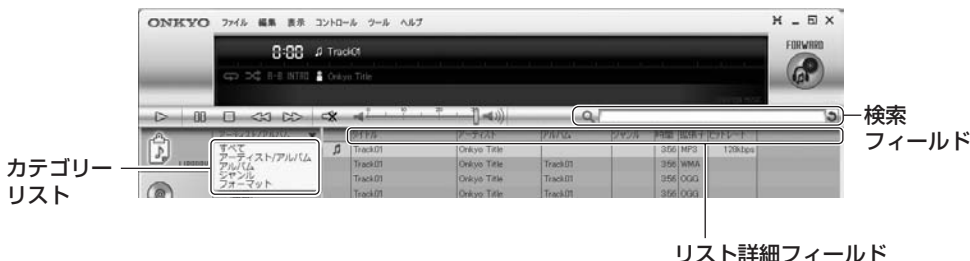
■ グループ単位で再生する

カテゴリーリストのアーティスト/アルバム、アルバム、ジャンル、フォーマットはそれぞれの単位で再生できます。例えば、アルバムカテゴリーでいずれかのアルバムを選ぶと、そのアルバム内のミュージックファイルを再生します。

ミュージックファイルを登録して聞く

登録した曲を並べ替える・検索する

ライブラリ

ライブラリの曲を探すには次の2通りの方法があります。

ライブラリモードに切り替えます。

■ カテゴリーリストをクリックして下記項目より検索する

すべて：ライブラリに登録されている全ての曲を登録日順に表示します。

※最近CDやハードディスクから登録した曲や購入した曲、およびライン入力より録音した曲を探すのに適しています。

アーティスト/アルバム：ライブラリに登録されている全ての曲をアーティスト別に分類し、さらにアルバム別に分類して表示します。

アルバム：ライブラリに登録されている全ての曲をアルバム別で表示します。

ジャンル：ライブラリに登録されている全ての曲をジャンル別で表示します。

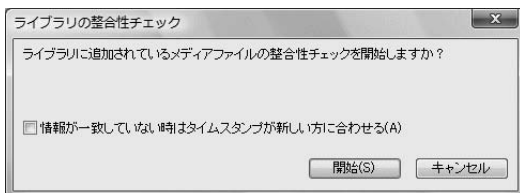
フォーマット：ライブラリに登録されている全ての曲をフォーマット別で表示します。

また、**リスト詳細フィールド**部分で右クリックすると、トラック番号、時間などリストの項目を設定することができます。リセットを選ぶと元の状態に戻ります。**リスト詳細フィールド**部分をクリックすると、▲▼が表示され、簡単にリストの並べ替えができます。

■ 検索文字を入力する

検索したい文字を入力すると、現在表示しているライブラリリストの一覧から、入力した文字を含むアーティスト、アルバム、タイトル名が検索され結果が表示されます。一文字入力するごとに結果を表示します。

■ ライブラリの整合性チェックを行う

ライブラリと保存されているすべての楽曲の整合性をチェックし、最新のライブラリを表示します。すでに存在しない楽曲のリストがライブラリに表示されている場合や、メディアファイル情報が不一致している場合に、ライブラリの情報を最適化します。

1. **メニューバーの［ツール］＞［ライブラリの整合性チェック］を選びます。**
2. **ライブラリの整合性チェックのダイアログが表示されたら、開始ボタンをクリックします。**

いろいろな再生のしかた

CD　ライブラリ

再生方法には、次の4種類があります。CDパネルまたはライブラリパネルで操作します。

■ 好みの1曲をくり返し再生するには

くり返したい曲の再生中にリピートボタンをクリックして、アイコンを表示させます。

■ 全曲をくり返し再生するには

再生中にリピートボタンをクリックして、アイコンを表示させます。

■ 指定した区間（A－B間）をくり返し再生するには

1. 再生中に、くり返し開始位置で、［A－B］をクリックします。

   “A－”と表示されます。

ミュージックファイルを登録して聞く

2. くり返し終了位置で、［A−B］をクリックします。

“A−B”と表示され、A−B間をくり返し再生します。

A−Bリピート再生を解除するには

A−Bをくり返しクリックして、表示を消します。

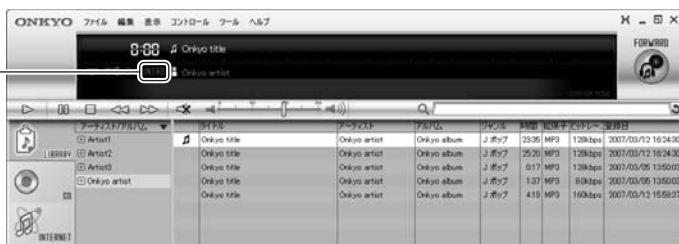
■ ランダムに再生するには

再生中にアイコンをクリックして、“ ”を表示させます。

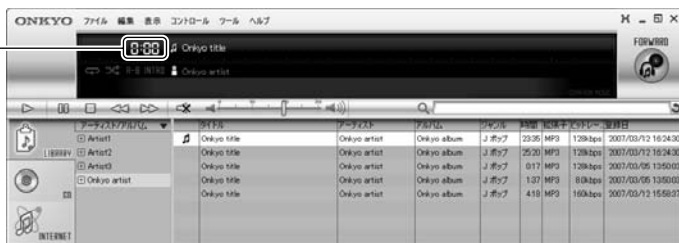
ランダム再生を解除するには

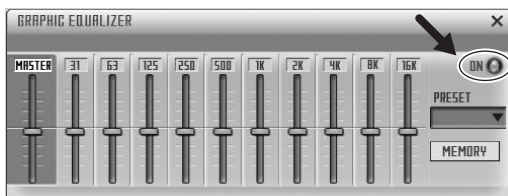
アイコンをクリックして、表示を消します。

■ イントロ［INTRO］をクリックすると

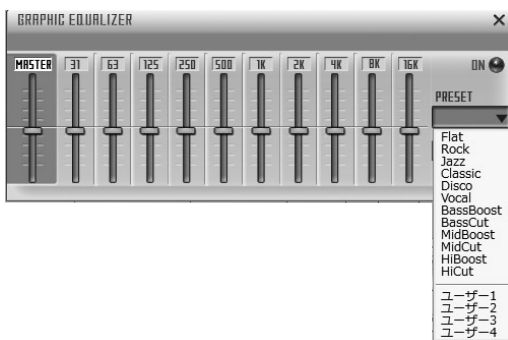
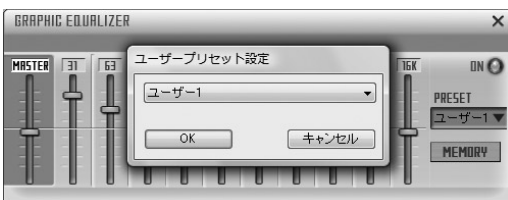
曲のイントロを5秒間再生します。

■ 時間表示を切り替えるには

時間表示をクリックします。

クリックするたびに、経過時間表示と残り時間表示が切り替わります。

グラフィックイコライザーを使って音楽を聞く　CD　ライブラリ

1. メニューバーの［表示］＞［グラフィックイコライザー］を選び、イコライザーパネルを表示します。
2. ［ON］ボタンをクリックし点灯させ、グラフィックイコライザーを動作させます。
（［ON］ボタンが消灯しているときは、グラフィックイコライザーは機能しません。）

3. ［MASTER（マスター）］ボリュームと各周波数のボリュームを上下して調節します。
（注：先読みを行いながら再生していますので実際の効果には3秒ほど必要です。）

グラフィックイコライザーを使いこなす

1. 曲調に合わせて［PRESET］から設定を選ぶことにより、より臨場感ある再生ができます。

2. お好みに応じて［PRESET］以外の設定も最大4つまで登録し、呼び出すことができます。

ミュージックファイルを登録して聞く

登録した曲を消去するには

ライブラリ

1. ミュージックライブラリで、消去する曲を選択します。

ミュージッグライブラリのグループを消去するには、グループ内の曲をすべて選択して消去します。グループ名を選択してグループ内のデータを一括消去することはできません。

2. ［削除］をクリックします。

- 連続した複数のトラックを選択するときは、Shiftキーを押しながらクリックするか、↑↓キーを押します。
- 連続していない複数のトラックを選択するときは、 Ctrlキーを押しながらクリックします。

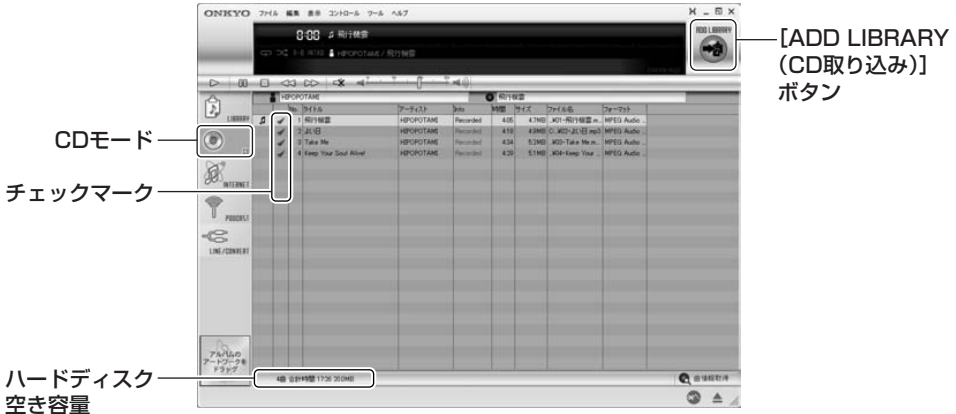
3. ［はい］をクリックします。

ミュージックファイル自体も削除するときはチェックを入れます。

CarryOn Musicでの［削除］はCarryOn Musicへの登録の消去を意味します。ハードディスクに保存されているオリジナルのミュージックファイルは削除されません。ミュージックファイル自体を削除する時は、［削除］ダイアログボックスの［ファイルも同時に削除する］にチェックを入れてから［はい］をクリックしてください。

音楽CDをライブラリに取り込む

 CD

音楽CDの取り込み方

1. 音楽CDをディスクドライブに入れてCDモードに切り替えます。

2. インターネットに接続していると、自動的に音楽CDのタイトル情報が無いか検索を開始します（Gracenote音楽認識サービス*）。タイトル情報が見つからない場合は、［曲情報取得］を押して検索を実行します。各項目を手動で入力することもできます。(☞43ページ)

   * Gracenote音楽認識サービスは、初回利用時にインターネット上でのユーザー登録が必要です。詳しくは34ページをご覧ください。

   ※音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote®社のホームページwww.gracenote.comをご覧ください。

3. 取り込みフォーマットを変更したい場合は、ツール>オプション設定>［CD取り込み］を選択し、保存したい形式を選択します。保存形式は、MP3、mp3PRO、WMA、WAV、Ogg Vorbisの中から指定することができます。

   フォーマットを切り替えると必要なファイル容量が更新および表示されますので、ハードディスクの空き容量を越えないように選択してください。

4. ［ADD（アド） LIBRARY（ライブラリ）（CD取り込み）］ボタンを押して、CDからライブラリへ取り込みを開始します。

   ※曲を選択したい場合は、タイトルの横にあるチェックマークを確認し、録音したい曲を選んでチェックマークを付けてから［ADD LIBRARY］ボタンを押します。

保存内容を細かく設定することもできます。(☞68ページ)

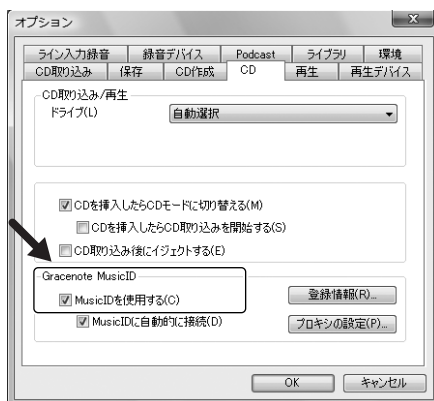
Gracenote音楽認識サービスについて

CD

Gracenote音楽認識サービスとは、インターネットを使った音楽CDのデータベースサービスです。CarryOn Musicは、Gracenoteメディアデータベースに接続して、音楽CDのいろいろな情報（アルバム名、アーティスト名、曲名など）を読み込むことができます。

※音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote®社のホームページwww.gracenote.comをご覧ください。

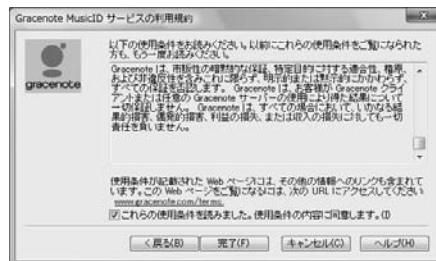
ご注意 Gracenote音楽認識サービスを利用するには、Microsoft Internet Explorer 4.0以上が必要です。

初期設定

1. メニューバーの［ツール］＞［オプション設定］＞［CD］タブをクリックします。
2. Gracenote MusicIDの［MusicIDを使用する］にチェックマークが入っていることを確認します。
3. プロキシ経由でアクセスするときのみ、［プロキシの設定］をクリックして設定をしてください。

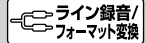
   ※プロキシ設定については、契約しているインターネットサービスプロバイダ（以下ISP）によって異なります。ISPによって書面等で通知されている資料を元に設定してください。また、プロキシ設定の有無についても、契約しているISPにご確認ください。

ユーザー登録をするには

1. インターネットに接続できているかどうか確認してください。
2. メニューバーの［ツール］>［オプション設定］>［CD］タブをクリックします。
3. ［登録情報］をクリックします。
4. Gracenote MusicIDの登録画面が表示されます。［次へ］をクリックします。

5. Gracenoteの利用許諾に同意する場合は、［これらの使用条件を読みました。使用条件の内容に同意します。］にチェックを入れ、［完了］をクリックします。

6. ［完了］をクリックすると登録が完了します。

※Gracenote MusicIDの利用登録について不明な点がありましたらGracenote − Your Source for Music Information（http://www.gracenote.com）へアクセスしてください。

外部機器から録音する

ライン録音/フォーマット変換

CarryOn Music 10はハードディスクにあるミュージックファイルを編集したり、外部機器から音声を録音することができます。

外部音源を録音する

1. レコード、MDやカセットなどの録音ソース機器をパソコン内蔵のサウンドカード（またはUSBデジタルオーディオプロセッサ）のライン入力（アナログ/デジタル）に接続します。（接続方法はお使いのパソコンやサウンドカードの取扱説明書を参照ください。）

2. ライン録音/フォーマット変換モードに切り替えます。

3. 録音するミュージックファイルの形式を選択します。

   ［FORMAT］選択をクリックしてファイル形式を選びます。選べる形式はWMA、MP3、mp3PRO、MP3（DIRECT）、WAV、WAV（DIRECT）、OGG、DGSです。

   - 各ファイル形式については用語集（☞75ページ）もご覧ください。
   - MP3（DIRECT）、WAV（DIRECT）について
     録音するときに、データを一時ファイルに落とさずにダイレクトにエンコードします。保存時にエンコードに時間がかからないメリットがあります。

4. ［SYNCHRO］ボタンが点灯していないことを確認した上で、録音ボタンを押します。

   録音待機状態に入り、レベルインジケータが動作します。レベルインジケータが振りきれないように入力レベルをあらかじめ調節してください。
   CarryOn Music 10では、録音ソースからの信号を自動的に検知して録音開始するシンクロ録音機能があります。自動的に録音を開始する便利な機能です。

5. 入力レベルの調節が終了したら、録音ソースの音声を止めてから［SYNCHRO］ボタンをクリックします。
シンクロ録音待機状態に入ります。

6. 録音ソースの音声を再生すると自動的に録音が開始されます。※1
録音を止めたいところで停止ボタンを押します。

録音を停止する場合は手動で停止ボタンを押す以外に、自動停止の機能により停止させることもできます。

7. MusicIDを利用してタイトルをつけます。
録音を停止したのち、Gracenote MusicIDを利用して録音ファイルに曲情報をつけることができます。（☞40ページ）

8. 終了したら、SAVEボタンを押すと録音したファイルが保存されます。

※1 **自動的に録音が開始されないときは...**

シンクロ録音では録音レベルを検知して録音を開始します。音声レベルの低い曲などで自動的に録音が始まらないときは、以下の手順で手動で録音してください。

1. 録音ボタンを押してから再生ボタンを押します。
録音が始まります。

2. 録音ソースを再生します。

フォーマット変換をする

ハードディスクに保存されているミュージックファイルを開いてファイルフォーマットを変換します。

1. ［ライン録音/フォーマット変換モード］に切り替えます。
または、ライブラリモード上でフォーマット変換したいミュージックファイルを選択し、［ライン録音/フォーマット変換モード］上にドラッグ＆ドロップします。※この場合、2の作業をとばすことができます。

2. ［OPEN（開く）］ボタンをクリックして、フォーマット変換をしたいミュージックファイルを選択します。

3. ［FORMAT（フォーマット選択）］ボタンをクリックして変換したいフォーマットを選択します。
変換できるファイルフォーマットについては、8ページを参照してください。

4. ［SAVE］ボタンをクリックします。

5. ［保存形式の設定］ダイアログが表示されますので、変換後のビットレートを決定します。

6. フォーマット変換を実行し、処理終了後ライブラリに登録されます。
※ライブラリに登録したくない場合は、［ADD LIBRARY］ボタンの［ON］表示を消してください。

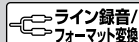
ヒント　波形編集する場合は、音質劣化を防ぐため一時ファイルを作成する[DIRECT ENCODE]以外のフォーマットをお勧めします。

ご注意
- 必ず録音ソース側の音質調整機能は外した状態で録音を行ってください。
- 特にポータブル機器から録音される場合、低音ブーストなどをすべてOFFにしてください。曲自体の波形が変化してしまい正しく曲が取得できません。

ミュージックファイルを登録して聞く

ライン録音/フォーマット変換モードで外部機器から録音するとき、録音後にEFFECTOR（エフェクター）パネルを開いて、ファイルを分割したりエフェクトをかけることができます。
録音済みのミュージックファイルを呼び出して編集することもできます。そのときは、［OPEN］をクリックし、ミュージックファイルを指定するか、エクスプローラ画面でファイルを指定して、パネルにドラッグ＆ドロップします。

ファイルを分割する

ライン録音/フォーマット変換

自動でファイルを分割する・オートストップ機能を利用する

外部音源を録音する際に、曲間の無音を感知してミュージックファイルを分割する［AUTO DIVIDE］と無音が連続した場合に録音を終了させる［AUTO STOP］を使用することが出来ます。

1. あらかじめ設定ダイアログボタンで設定ウィンドウを開き、ライン入力録音タブを開きます。

シンクロ録音の自動曲分割・自動停止の項目を設定します。

設定ダイアログボタン

2. 録音をスタートさせます。

自動的に無音を感知して設定に応じた曲分割と録音の終了を行います。

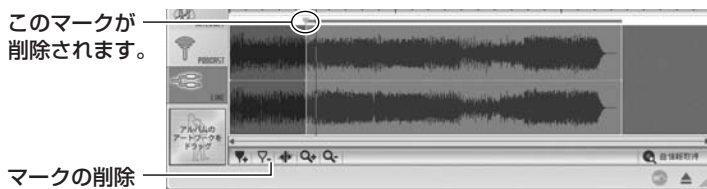
■ 録音後に手動でファイルを分割するには

曲のジャンルによっては曲間の位置が実際とずれていたり、曲分割されていなかったり、不要な場所で分割される場合がありますので、その場合は録音終了後に手動でマーク位置を調節してください。

1. 波形モニターの曲分割したい部分をクリックし、カーソルを移動させます。そして再生ボタンをクリックして再生を始めます。
2. 1の手順を繰り返し分割したい場所を特定し、分割したいところで［マークの追加］をクリックします。マークがつきます。

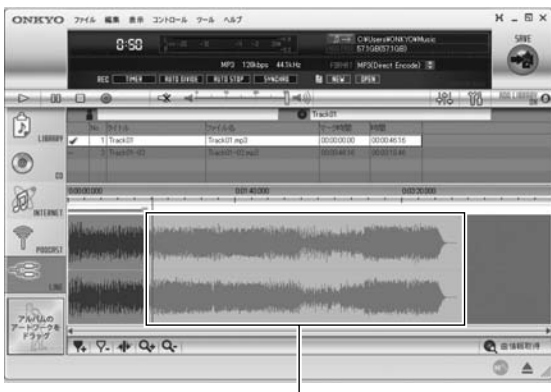
ヒント 波形拡大すると、位置を特定しやすくなります。

- ［カーソル］をクリックすると、数値で位置を指定することもできます。

- マークを取り消したいときは、取り消したいマークの右側の波形をクリックしてから［マークの削除］をクリックします。

ご注意 実際の曲分割を含むエフェクトの結果は［SAVE］ボタンを押すまで実行されません。SAVEボタンを押す前であれば何度でもやり直しが可能です。

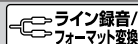
ミュージックファイルを登録して聞く

■ 分割したファイルを編集するには

ファイルを分割した状態で、保存したい曲をチェックします。
保存する曲には、アーティスト名や曲名を入力することができます。（¥ / , : ; * ? “ <> I 等は入力できません。）
オムニバスCDなどから録音したとき、録音後に曲ごとにアーティスト名を入力する場合に便利です。

グレーにしたところは保存されません

［SAVE］をクリックするまでは、実際の分割は実行されません。

MusicIDを利用してタイトルをつける

ライン録音/フォーマット変換

録音が終了した曲にタイトル情報を自動でつけることができます。録音したリスト選択して、曲情報取得をクリックしてください。音声データの波形そのものを認識し、インターネットを通じてGracenoteメディアデータベースに登録された波形と一致するものを検索、該当する曲情報をダウンロードします。候補が複数あるものは一覧を表示して、そこから該当する曲情報を取得します。

※ 音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote®社のホームページwww.gracenote.comをご覧ください。

1. ライン録音/フォーマット変換モード上で録音終了直後の音楽ファイルを準備します。

（複数曲録音した場合、MusicIDを有効にするためには、曲分割されている必要があります。）

レコードやカセットの音源等まだ音楽ファイルとして録音されていない曲をあらかじめライン録音モードに用意します。

2. ライン録音/フォーマット変換モードに音楽ファイルが用意され、波形情報が表示されているのを確認し、曲情報取得ボタンを押してダイアログを表示させてください。

3. 検索対象ファイルを確認して検索ボタンを押してください。インターネットを経由して検索結果が表示されます。

ミュージックファイルを登録して聞く

4. 右端の項目［Hit］に1以上の数字が表示された場合、別候補に変更することができます。別候補に変更したいタイトル行を選択した状態で［選択］ボタンを押します。

［ミュージックファイル情報］が開きますのでPreset（プリセット）から候補を選んでください。

5. すべての設定が終了したらSAVEボタンを押してライブラリモードのミュージックライブラリに登録してください。このときEffectサブパネルでフェードイン/アウトなどのエフェクトを加えている場合も同時に反映された状態でライブラリに保存されます。

SAVEボタン

6. ライブラリモードに切り替えるとライン録音モードで保存した曲が自動登録されているのが確認できます。ライブラリモードで音楽再生をお楽しみください。

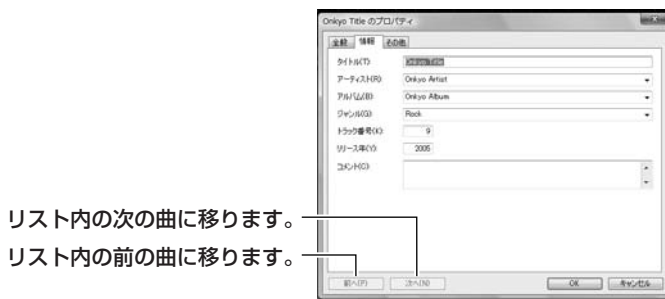
曲情報を編集する

ライブラリ

曲情報とは[アルバム][アーティスト][タイトル][ジャンル]などのタグ情報のことで、お好みで編集することができます。

1. ライブラリモードに切り替えます。

2. 曲を選び、右クリックで出るメニューから［プロパティ］を選びます。

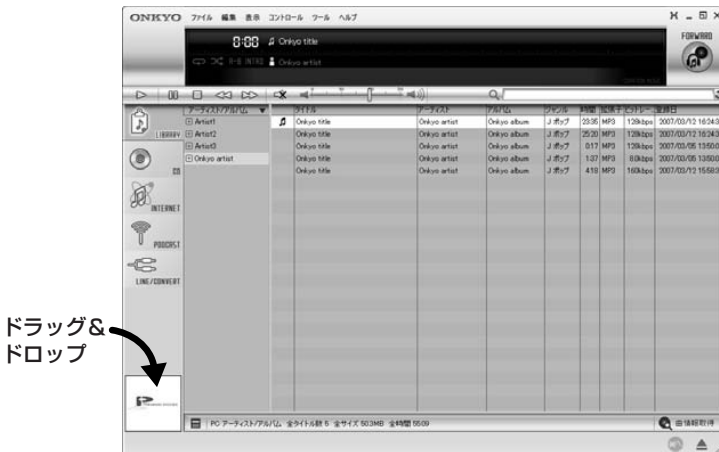
3. 曲情報を編集して、［OK］をクリックします。

・トラック番号を編集しておくと、トラック番号順にソートするときに便利です。
・曲名を選択して右クリックし、プロパティを呼び出して曲情報を編集することもできます。

ミュージックファイルを登録して聞く

ジャケット写真を取り込む

アーティストのアルバムごとにジャケット写真を取り込むことができます。1曲に対し、複数の写真を登録することも可能です。
取り込み可能なファイル形式は.bmp、.jpg、.jpe、.jpeg、.jfif、.png、.tif、.tiff、.gifです。

■ ジャケット画像をドラッグ＆ドロップする

1. 設定したい曲をクリックして選択します。
2. 設定したい画像をジャケット写真エリアにドラッグ＆ドロップします。

■ プロパティで設定する

1. 設定したい曲をクリックして選択します。
2. メニューバーの［編集］＞［プロパティ］を開き（または、曲を選択して右クリックし［プロパティ］を選ぶ）、その他タブを選びます。

3. 参照をクリックして、ハードディスク内に保存している画像の中から選びます。
   複数枚設定しているときは、プロパティの◀/▶アイコンで設定したい画像を選びます。

関連付けの設定をする

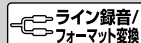
ファイルの関連付けをしておくと、設定した拡張子のミュージックファイルをダブルクリックしてCarryOn Musicを起動し再生することができます。
※OSがWindows Vistaの場合の説明となります。Windows XPの場合は、71ページをご覧ください。

1. メニューバーの ［ツール］＞［関連付けの設定］ を選びます。

   関連付け設定のダイアログが表示されます。

2. プログラムのなかからCarryOn Musicを選び、「このプログラムの既定を選択する」を選びます。

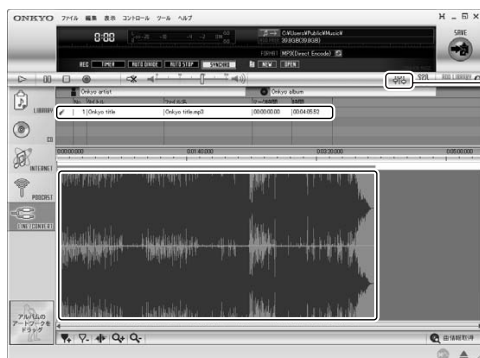
3. 関連付けを設定したい拡張子にチェックをつけます。

エフェクトをかける

ライン録音/フォーマット変換

ライン録音/フォーマット変換モードではEFFECTORパネルを使って、フェードイン、フェードアウト、ノーマライズ、左右のレベル調整、ノイズの低減などの効果をかけることができます。
エフェクト操作は、A−Bリピート（☞29ページ）で再生音を確認しながら行えます。
実際のエフェクト処理は、［SAVE］をクリックするまで実行されないので、何度もエフェクトの効果を確認しながら調整できます。

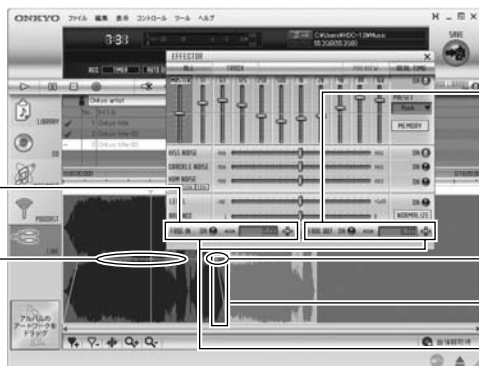
■ フェードイン／フェードアウトをかける

曲の始めを徐々に音量を上げて曲の再生を始めたり（フェードイン）、曲の終わりを徐々に音量を下げて再生を終わる（フェードアウト）設定ができます。

1. フェードイン（もしくはフェードアウト）をかけたいファイル（またはファイルの中の効果をつけたい部分）を選び、EFFECTORパネルボタンを押します。

2. フェードインするには、［FADE IN］ボタンをクリックします。フェードアウトするには、［FADE OUT］ボタンをクリックします。

   フェードイン／フェードアウトを設定すると､波形モニターに右上がり／右下がりの線が表示されます。

3. ⊕または⊖ボタンをクリックして時間を設定します。

   フェードイン/フェードアウトは、指定した曲だけにはたらきます。

38ページの「ファイルを分割する」と組み合わせることもできます。ファイルを分割したあと、フェードイン／フェードアウトをかけたいファイルを選択し、フェードイン／フェードアウトの各ボタンをクリックしてください。

■ ノーマライズをかける

録音レベルが低すぎたときなど、再生音が歪まないように、適切なレベルで録音した状態に全体のレベルを補正します。
ノーマライズをかけるには、［NORMALIZE］をクリックします。

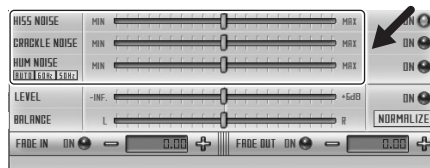
■ レベルとバランスを調整する

スライダーで録音レベルを調整したり、左右のバランスを調整することができます。

■ ノイズ低減レベルを設定する

再生時にノイズが聞こえる場合、レベルを下げてノイズの低減ができます。

特にカセットテープなどアナログ音源からの録音を行う際に混入するノイズを低減させることができます。
ノイズ低減レベルを設定するには、HISS NOISE（ヒスノイズ）、CRACKLE NOISE（クラックルノイズ）またはHUM NOISE（ハムノイズ）をクリックし、スライダーを調整します。

ご注意

「ノーマライズをかける」「レベルとバランスを調整する」「ノイズ低減レベルを設定する」は、録音するすべての曲にはたらきます。各トラックごとには設定できません。

録音タイマー機能を利用する

ラジオやテレビの音声の録音の場合など、無音検出によるオートセーブ機能を利用できない場合に「録音タイマー機能」を利用することで録音開始時刻や録音終了時刻を設定することができます。

録音前もしくは録音中に［TIMER］ボタンを押して、

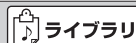
1. 録音前であれば、録音開始時刻の設定をします。

2. 録音終了までの残り時間で録音終了時刻の設定をします。

録音タイマー機能が設定されている場合は録音待機状態になります。

ご注意　録音が自動・手動に関わらず停止すると［TIMER］ボタンは消灯して直前に設定したタイマーは解除されます。録音を途中でやり直す場合などはタイマーも再設定する必要があります。

音楽CDを作成する

音楽CDを作成する

ライブラリ

ライブラリ/プレイリストを選択して音楽CDを作成します。

1. ライブラリモードに切り替えます。

2. パソコンのディスクドライブにCD-RまたはCD-RWのブランクディスクをセットします。

3. ライブラリまたはプレイリストより、任意のリストを選択します。

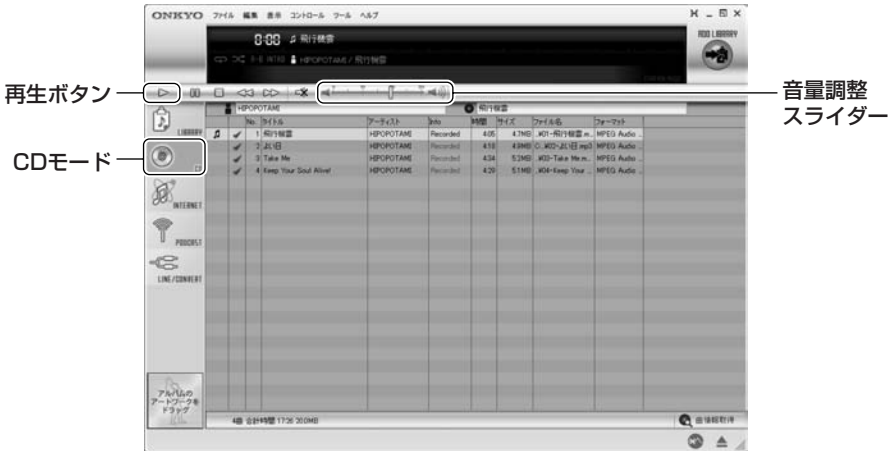
   ディスクに保存したい曲をチェックします。保存しない曲はチェックをはずしてください。曲を並べ替えて（☞28ページ）保存することもできます。

4. 転送ボタンをクリックして［CD作成］を選択します。

   ライブラリの曲リストでチェックされているすべての曲が表示順にCDに書き込まれます。
   ※CDの容量を超える場合は、メッセージが表示されます。
   ※CD作成中は他のモードへ移動できません。

音楽CDを再生する

1. 音楽CDをパソコンのディスクドライブにセットします。

2. CDモードに切り替えます。

3. 再生ボタンをクリックします。

   1曲目から再生します。

4. 音量調整スライダーを左右に動かして、音量を調節します。

   再大音量まで上げても音量が極端に小さい場合は、Windowsのボリュームコントロールを調整してみてください。

- Gracenote音楽認識サービス機能を使うと自動的にタイトル取得ができて便利です。(☞40ページ)

  ※音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote®社のホームページwww.gracenote.comをご覧ください。

- メニューバーの［ツール］>［オプション設定］を選びCDタブを開いて、再生についての設定ができます。(☞68ページ)

聞きたい曲を選ぶには：

聞きたい曲をダブルクリックします。

CDを取り出すには：

ディスクドライブのOPEN/CLOSEボタンを押す、または、操作パネルのOPEN/CLOSEボタンをクリックします。

■ ランダム再生する→（☞30ページ）
■ リピート再生する→（☞29ページ）

プレイリストを作る

プレイリストは、好みの曲を好みの順に再生するときに使います。ミュージックライブラリから好みの曲をプレイリストに登録して、オリジナルのプレイリストを作成できます。

音楽CDから録音しただけでは、プレイリストには何も表示されません。

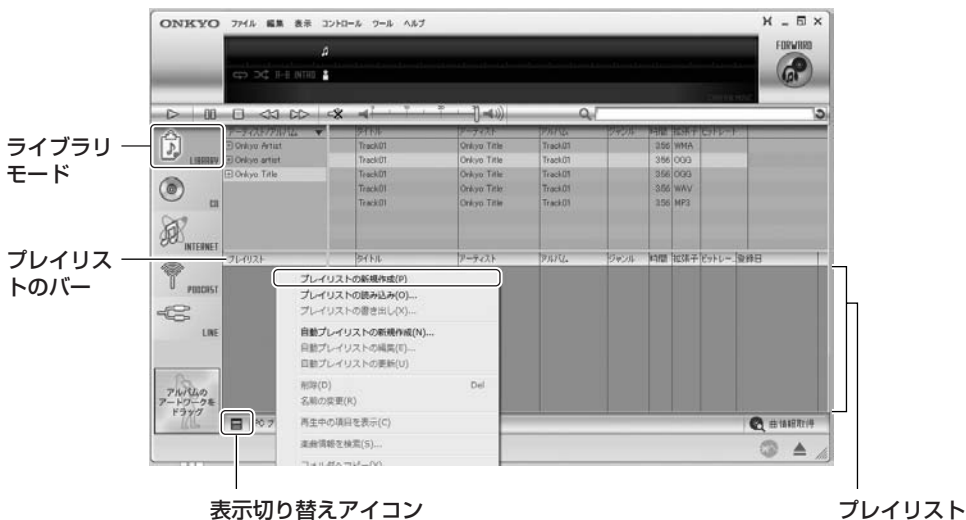
新しいプレイリストを作るには

ライブラリ

1. ライブラリモードに切り替えます。
2. メニューバーの［表示］>［ライブラリ/プレイリスト］を選び、プレイリストの一覧を表示します。

   表示切り替えアイコンをクリックして切り替えることもできます。

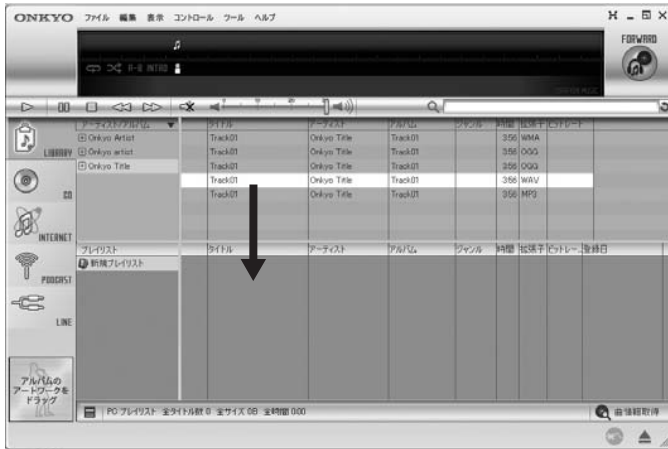
3. プレイリストで右クリックし、［プレイリストの新規作成］をクリックします。

   プレイリストのバーが一番下にあるときは、バーをドラッグして上に引き上げてください。

4. プレイリストに登録する曲をリストの中からクリックして選びます。

複数の曲を選ぶときは、次のようにします。

- 連続した複数のトラックを選択するときは、Shiftキーを押しながらクリックするか、↑↓キーを押します。
- 連続していない複数のトラックを選択するときは、 Ctrlキーを押しながらクリックします。

プレイリストを作る

5. 選んだ曲を、プレイリストにドラッグ&ドロップします。

ライブラリに登録されていない曲も、ドラッグ&ドロップしてプレイリストに追加できます。
プレイリストに追加すると、ライブラリにも追加されます。

6. 曲順を入れ替えるには、移動する曲を上または下にドラッグ&ドロップします。

   移動する曲を右クリックして、[上へ移動]または[下へ移動]を選んでも移動できます。

7. 再生したい曲を選択して、再生ボタンをクリックして再生します。

曲を検索して、プレイリストに追加するには

ライブラリ

1. ライブラリモードに切り替えます。

2. メニューバーの［編集］＞［ライブラリの検索］をクリックします。

3. 検索する条件を入力し、［プレイリストに追加］をクリックします。

4. 既存のプレイリストまたは新しいプレイリストを選びます。

5. ［OK］をクリックします。

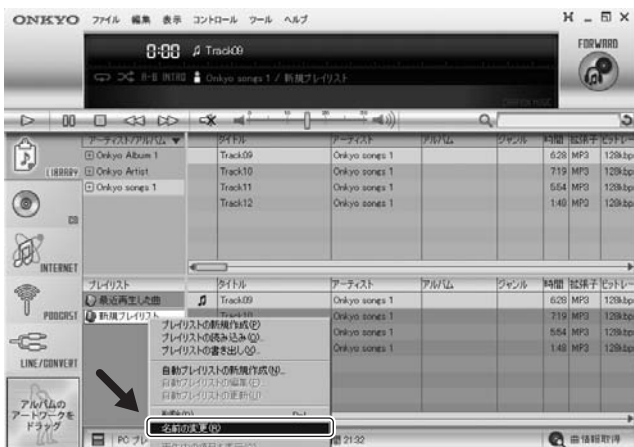
既存のプレイリストを選んだとき
検索した曲が、選んだプレイリストの末尾に追加されます。

新しいプレイリストを選んだとき
検索した曲が新たに作成されたプレイリストに追加されます。

プレイリストを作る

プレイリストの名前を変更するには

ライブラリ

1. 変更する名前を右クリックし、メニューの［名前の変更］をクリックします。

2. 文字を入力して、Enterキーを押します。

プレイリストの任意の位置や末尾に曲を挿入するには

ライブラリ

1. ミュージックライブラリで、追加する曲を選択します。
   グループに含まれるすべての曲を挿入するときは、グループを選択します。
2. 選択した曲またはグループを、追加先のプレイリストの挿入したい位置へドラッグ&ドロップします。
   プレイリストの末尾に曲を挿入したいときは、選択した曲またはグループをプレイリストの名前部分へドラッグ&ドロップします。

グループを選択して新しいプレイリストを作るには

ライブラリ

ミュージックライブラリのグループを選択して、プレイリストの空白部分へドラッグ&ドロップします。

ミュージックライブラリのグループ名と同名のグループが新たに作成されます。

プレイリストの中で曲をコピーするには

ライブラリ

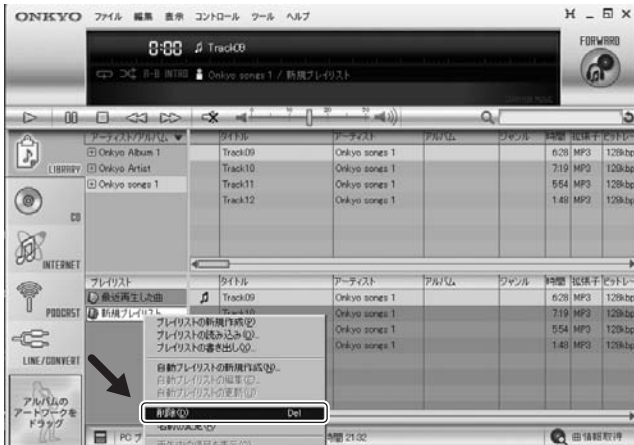
同じまたは異なるプレイリストの中で曲をコピーすることができます。

1. 挿入する曲をクリックして選択し、マウスのボタンを押したまま挿入位置にドラッグします。
2. Ctrlキーを押します。
   マウスポインタに［+］マークがつきます。
3. マウスのボタンを離します。
   同じ操作をくり返して、何度でも追加できます。

プレイリストを削除するには

ライブラリ

1. 削除するプレイリストを右クリックし、メニューの［削除］をクリックします。

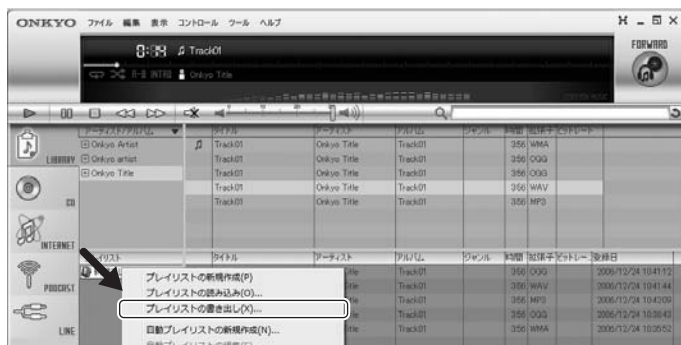
   キーボードのDelキーを押しても操作できます。

2. 確認のメッセージが出たら、［OK］をクリックします。

ご注意　プレイリストから曲を消去しても、ミュージックライブラリの同じ曲は消去されません。ただし、ミュージックライブラリの曲を消去すると、プレイリストの曲も消去されます。

プレイリストを作る

プレイリストを書き出すには

プレイリストを書き出すと、他のプレーヤーで読み込んでそのプレーヤーでも同じプレイリストで再生することができます。

1. プレイリストの名前を右クリックし、メニューの［プレイリストの書き出し］をクリックします。

「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。

2. ［保存する場所］、［ファイル名］などを指定し、［保存］をクリックします。

アーティスト名・曲名・曲順などの情報が、ファイルとして保存されます。

※プレイリストファイルはM3U形式またはPLS形式で保存されます。

プレイリストを読み込むには

ライブラリ

既存のプレイリストファイル（M3U形式またはPLS形式）を読み込むことができます。読み込まれたプレイリストは、ミュージックライブラリにも登録されます。プレイリストを読み込むと、他のプレーヤーで作成したプレイリストを読み込んでライブラリに登録され、CarryOn Musicで同じプレイリストで再生することができます。

1. プレイリストで右クリックし、メニューから［プレイリストの読み込み］をクリックします。

2. ［プレイリストの読み込み］ダイアログボックスで、読み込むプレイリストファイルをクリックし、［開く］をクリックします。

   読み込んだプレイリストが表示されます。読み込み可能なファイル形式は、M3U、PLSです。

同じ名前のプレイリストがあるときは、確認メッセージが表示されます。［OK］をクリックすると、同じ名前のプレイリストの中に追加されます。

一度に複数のプレイリストを読み込むには

既存のプレイリストファイル（M3U形式またはPLS形式）を読み込むことができます。読み込まれたプレイリストは、ミュージックライブラリにも登録されます。

1. プレイリストを保存してあるフォルダを開きます。

2. プレイリストファイル（M3U形式またはPLS形式）を選択します。

3. プレイリストファイルをCarryOn Musicのプレイリストエリアにドラッグ&ドロップします。

   読み込んだプレイリストが表示されます。

ポータブルプレーヤーへ転送する

ライブラリ/プレイリストの曲またはポッドキャストの番組をポータブルプレーヤーへ転送します。

■ 対応デバイスについて

以下の方式に対応した機器が使用できます。

- USBストレージ
  USBマスストレージクラスに対応したプレーヤー
- MTPデバイス
  インターネット上で購入したDRM*付WMAコンテンツを転送・再生できるプレーヤー

  * DRM（Digital Rights Management）：音楽などのデジタルデータが不正コピーされないよう保護する技術

ライブラリ/プレイリストをポータブルプレーヤーへ転送する　ライブラリ

ライブラリやプレイリストの曲をマニュアルで選んでポータブルプレーヤーに転送します。

■ プレーヤー設定ウィザードを使って初期設定をする

アプリケーションが初めて認識するプレーヤーを接続すると、そのプレーヤーに対する設定を行うウィザードが表示されます。

1. デバイスの選択ダイアログ：ポータブルプレーヤーが接続されているドライブ名を選択します。

2. ポータブルプレーヤーの名前を設定してください。

   ※自動認識可能なプレーヤー接続時は、右図のように下記の設定項目が表示されます。
   - このプレーヤーの接続時に自動で転送モードに切り替える
   - このプレーヤーの接続時に自動でポッドキャストモードに切り替える
   - モード変更しない

   （対応プレーヤーについては、オンキヨーサポートページhttp://www.jp.onkyo.com/nmt/hdc.htmをご覧ください。）

3. **ポータブルプレーヤーの転送モードを選択してください。**

マニュアル転送とは：任意の曲を選択してポータブルプレーヤーへ転送します。

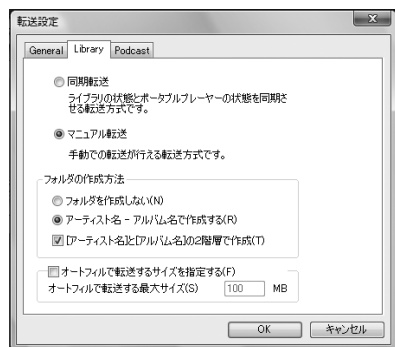
同期転送とは：チェックマークの付いたライブラリの曲をポータブルプレーヤーへ転送して同じ状態にします。

※プレイリストは同期転送できません。
※ポータブルプレーヤーによっては同期転送できないことがあります。

4. **ポータブルプレーヤーの設定を完了します。**

5. **設定を確認します。**

設定アイコン（SETTING）をクリックし転送設定ダイアログを表示させLibrary（ライブラリ）タブを開き、選んでいる転送モードを確認してください。

※ポータブルプレーヤーへの転送は、ライブラリモードおよびポッドキャストモードで行えます。接続時にどちらのモードを表示するかの設定は、Generalタブを開いて確認してください。（自動認識可能なプレーヤーのみ設定が可能です。）

ポッドキャストの番組をポータブルプレーヤーへ転送するときの設定は、Podcast（ポッドキャスト）タブを開いて確認してください。（☞69ページ）

ポータブルプレーヤーへ転送する

■ マニュアル転送をする

1. ライブラリモードに切り替え、CD作成/ポータブルプレーヤー転送ボタンをクリックし、ポータブルプレーヤーへ転送を選びます。

転送モードパネルが表示されます。

設定アイコンをクリックし転送設定ダイアログのLibrary（ライブラリ）タブを開き、マニュアル転送がチェックされていることを確認してください。

2. 転送したいプレーヤー表示されていることをプレーヤー一覧で確認します。

※複数接続している場合は、プレーヤー一覧からリストを選択してください。

3. 転送したいライブラリリストまたはプレイリストを選択し、表示させます。

※表示しているリストのうち、さらに曲を数曲選択する場合はCtrlキーを押しながらお好みのリストを選択してください。
※設定を変更したい場合は、設定アイコンをクリックし設定ダイアログを開いて変更してください。（☞59ページ）

4. 2つある転送ボタンのうちどちらかを押してプレーヤーへ転送を開始します。

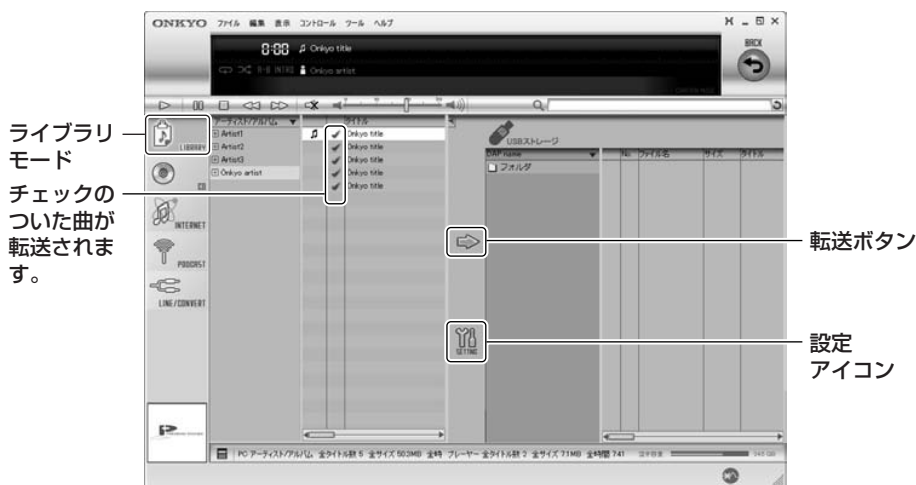
転送ボタンは以下の2種類あります。

マニュアル転送ボタン：任意の楽曲を選択してポータブルプレーヤーへ転送します。

オートフィル転送ボタン：プレーヤーの残り容量に収まるようにファイルが自動に選択される転送方式です。転送される曲はライブラリからランダムに抽出されます。転送先のプレーヤーにはオートフィル専用のフォルダが作成されてその中に転送されます。このフォルダ以外のフォルダ下のファイルがこの転送によって削除されることはありません。

※空き容量はプレーヤー空き容量バーを確認してください。

転送設定ダイアログのGeneralタブを開いて、「全てのファイルをMP3に変換して転送」を選ぶと、Ogg Vorbis、AAC形式のファイルをMP3に変換することができます。

■ 同期転送をする

1. ライブラリモードに切り替え、CD作成/ポータブルプレーヤー転送ボタンをクリックし、ポータブルプレーヤーへ転送を選びます。

2. 転送ボタンを押して転送を開始します。

※曲のチェックをはずすとその曲は転送されません。プレーヤーの空き容量が少ないときに便利です。
※設定を変更したい場合は、設定アイコンをクリックし設定ダイアログを開いて変更してください。
(☞59ページ)

ポータブルプレーヤーへ転送する

ポッドキャストの番組をポータブルプレーヤーへ転送する

チェックのついたポッドキャスト番組を転送します。

1. ポッドキャストモードに切り替えます。

2. 転送ボタンをクリックして転送を開始します。

※番組のチェックをはずすとその番組は転送されません。プレーヤーの空き容量が少ないときに便利です。
※転送設定を変更したい場合は、設定ダイアログを開いて変更してください。（☞59ページ）

自動認識に対応していないプレーヤーについては、転送ボタンをクリックしても反応しない場合があります。そのときは、一度ライブラリモードに変更し、転送ボタンをクリックして転送したいプレーヤーが認識されたことを確認してください。その後、ポッドキャストモードでの転送が可能になります。

※ライブラリモードの〔ジャンル〕から〔Podcast〕を選んで転送することもできます。
（対応プレーヤーについては、オンキヨーサポートページhttp://www.jp.onkyo.com/nmt/hdc.htmをご覧ください。）

インターネット機能を使う

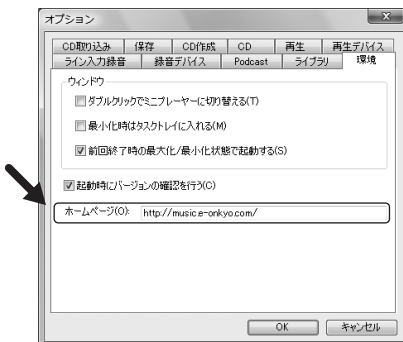
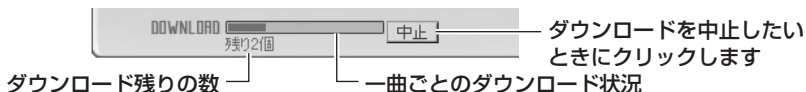
ライブラリやCD再生を楽しみながらインターネットブラウジングが楽しめます。曲を購入することもできます。

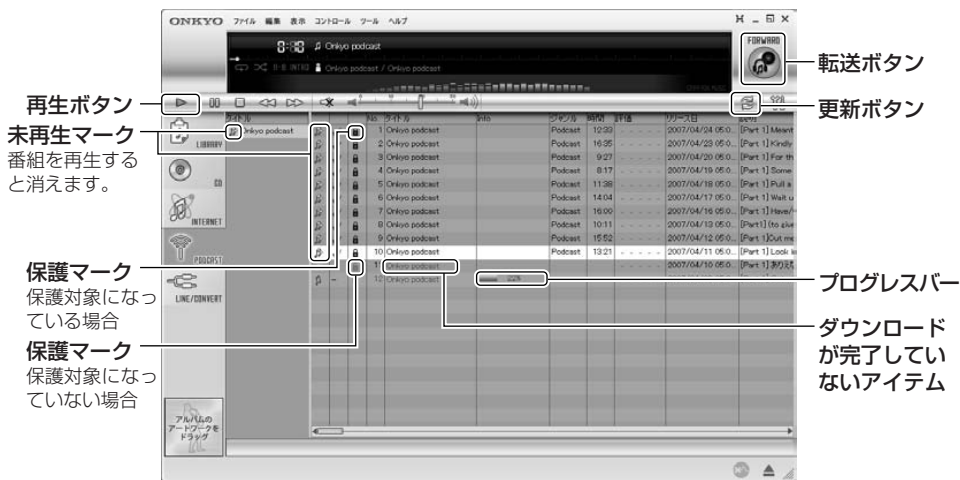
1. インターネットモードに切り替えます。
2. アドレスバーに参照したいURLを入力するとそのページが表示されます。

※インターネットへ接続していることが前提です。

※デフォルトではジャズやクラシックを中心に24ビット/96kHz HDサウンド曲が購入が出来るe-onkyo music（http://music.e-onkyo.com）にアクセスします。

お好みのホームページを追加するには [お気に入りに追加] をクリックします。

ホームページを変更するには、メニューバーの［ツール］>［オプション設定］>［環境］のホームページにお好みのURLを入力してください。

曲のダウンロード中はパネルの左下に進行状況が表示されます。

ポッドキャストの楽しみ方

インターネット上のRSSファイルをドラッグ＆ドロップして、お好みの番組を登録すると、番組が自動的にダウンロードされ一覧が表示されます。ビデオポッドキャストには対応していません。

ポッドキャスト番組を登録する

ポッドキャスト

ポッドキャストの登録方法は以下の2通りあります。

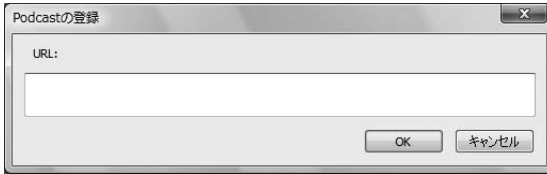
1. RSSファイルのショートカットをドラッグ＆ドロップする方法

ポッドキャスト用のお好みの番組を[インターネットモード]またはInternet Explorer®でブラウザを開き、サイト上にあるRSSファイルのアイコンを、[Podcast(ポッドキャストモード)]上にドラッグ＆ドロップすると番組が登録されます。

2. URLを直接打ち込む方法

画面を[Podcast(ポッドキャストモード)]に切り替えてください。

画面上右クリックして[ポッドキャストの登録]を選択すると、URLが直接打ち込めるテキストボックスが表れます。そこにポッドキャスト用のお好みの番組のURLを入力して[OK]をクリックすると登録され、ダウンロードを開始します。

※ポッドキャストの詳細設定は、メニューバーより[ツール]＞[オプション設定]＞[Podcast]ダイアログを選択してください。ポッドキャストの更新のタイミングやダウンロードするアイテムの選択、保存するアイテムの制限等が設定できます。

■ 登録した番組を楽しむには

1. [更新]アイコンをクリックすると、ポッドキャスト番組リストを更新し、ダウンロードを開始します。

[プログレスバー]で各番組、各アイテムのダウンロード状態を表示します。ポッドキャストの詳細設定[Podcast]タブの設定により、ダウンロードする条件も異なりますので、グレーアウトされているリスト（ダウンロード未完了）を視聴する際は、ダブルクリックしてダウンロードを開始してください。

2. アイテムリストをダブルクリックまたは再生ボタンをクリックすると再生を開始します。

■ 各マーク表示について

●未再生マークについて

登録した番組中のすべてのアイテムを再生すると、番組名の頭についている[番組未再生マーク]が消えます。
番組中の各アイテムを視聴すると､アイテム名の頭についている[アイテム未再生マーク]が消えます。

●保護マークについて

画面上を右クリックし､[保護の対象にする/しない]を選択できます｡保存するアイテム数を制限している場合､更新時に有効な設定です｡[保護マーク]上をクリックしても切り替えることができます。

●注意マークについて

[注意マーク]がついているアイテムはダウンロードがうまく行えなかった場合に表示されます。
考えられる理由としては､ハードディスク上から消してしまった場合や､ポッドキャスト番組サービス側もしくはインターネット上の問題で､うまくダウンロードができない場合などがあります。

■ ポッドキャスト番組を転送するには

[転送ボタン]をクリックすると、お好みのリストをポータブルプレーヤーに転送できます。
詳しくは62ページをご覧ください。

オプション設定

メニューバーの［ツール］>［オプション設定］を選ぶとオプション設定画面が表示されます。

再生

曲を再生するときの各種設定をします。

音楽を再生する場合、曲間に無音の長さを設定します。 パソコンからMDなどに録音する場合、この機能を使うと自動的に曲間を判断し、トラックを分けて録音することができます。

CD取り込み

音楽CDから取り込む際のファイル形式を選択します。選択したファイル形式によって設定項目が変わります。

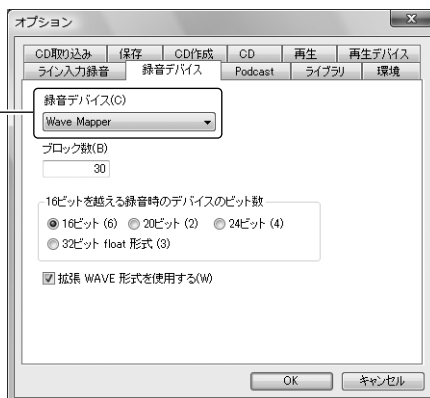
高音質を楽しみたいときは非圧縮のWAVまたはWMA(Lossless)を選びます。曲を多く取り込みたいときは圧縮率の高いMP3またはWMAが便利です。

ファイル形式でOGGを選ぶときのご注意

ダウンミックスを有効にするときは、標準ビットレートを240kbps以下に設定してください。

録音デバイス

外部機器から録音するときの各種設定をします。

複数の外部録音デバイスを新たに接続したときは設定してください。

ライン入力録音

ライン入力録音時の各種設定をします。

オプション設定

保存

曲を保存するときの各種設定をします。

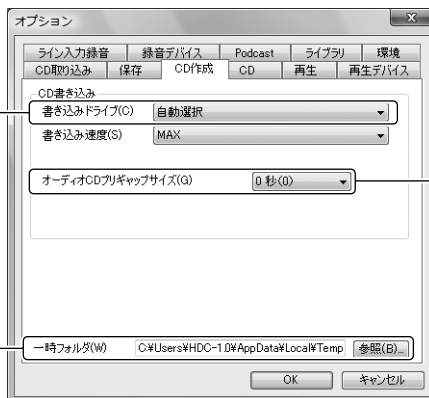
保存先のドライブを変更したいときに設定してください。

前後に続けて組み合わせることで、より自由にファイル命名が設定できます。

CD

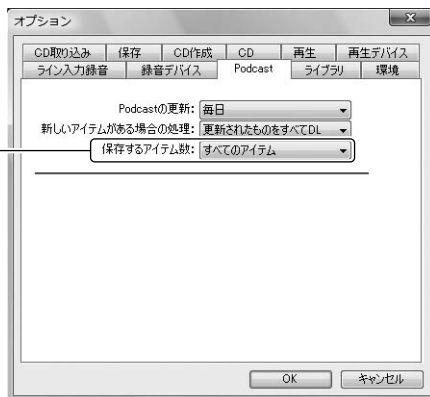
CDをライブラリに取り込む際のドライブや環境を設定します。

外付けのディスクドライブを使うときに設定してください。

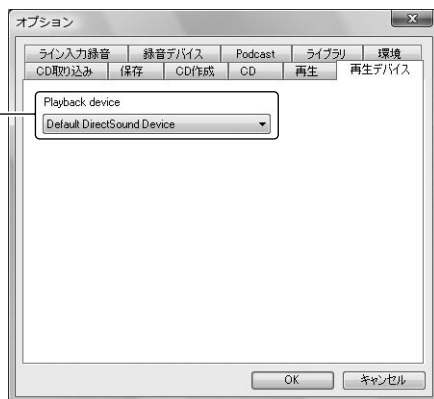
CD作成

CD書き込み時の各種設定をします。

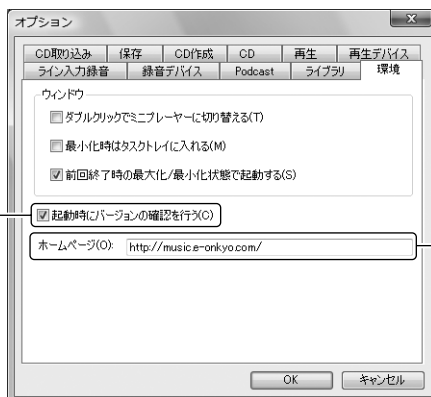
Podcast

ポッドキャスト登録時の各種設定をします。

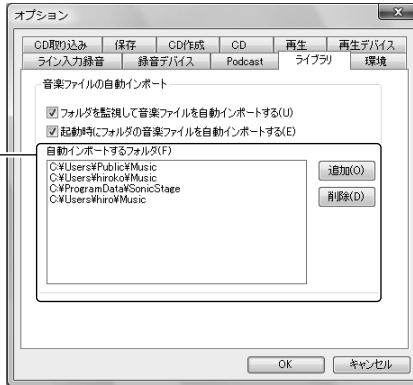
保護マークをつけていると設定した保存アイテム数を越えても削除されません。アイテムは指定された更新ごとにダウンロードされますが、保存するアイテム数を指定することで古いアイテムを自動的に消すことができます。

オプション設定

再生デバイス

外付けの再生デバイスを使うときに設定してください。

環境

CarryOn Musicの各種環境設定をします。

ライブラリ

音楽ファイルを自動的にライブラリに登録するための設定をします。

音楽ファイルのあるフォルダを設定しておくと便利です。自動インポートとは自動的にライブラリに曲を登録することです。

関連付け（Windows®XPの場合）

音楽ファイルの拡張子に対する関連付けの設定を行います。
※Windows Vista™の場合は、45ページを参照してください。

CarryOn Musicで関連付けを設定したい拡張子にチェックをつけてください。ファイルの関連付けをしておくと、設定した拡張子の楽曲をエクスプローラーでダブルクリックしたとき、CarryOn Musicを起動し、そのまま再生することができます。

困ったときは

まず下の表で点検してみてください。接続した他機に原因がある場合もありますので、他機の取扱説明書も参照しながらあわせてご確認ください。

音声に関して

音声が出ない

- Windowsのタスクバーにあるスピーカーのアイコンを右クリックして「音の調節」パネルを開き、ミュートにチェックが入っている場合は、チェックを外してください。出力レベルが小さい時は、音声出力のレベルを適正な値に調整してください。
- アンプやスピーカーをパソコンに接続している場合は、それらの接続を確認してください。また、アンプやスピーカーの電源、音量調整を確認してください。
- 音声出力デバイスが正しいか確認してください。コントロールパネルからハードウェアとサウンド>サウンドパネルを開き再生タブをクリックして、使用するデバイスを選んでください。

左右のバランスがかたよっている

- Windowsのタスクバーにあるスピーカーのアイコンを右クリックして「音の調節」パネルを開き、バランススライドバーで調整してください。
- アンプやスピーカーをパソコンに接続している場合は、それらのバランス調整を確認してください。

音が途切れる

- 音声出力、入力中にCPUに負担のかかる作業を行っている場合は、控えてください。
- 音声の再生中に他のUSB機器を抜き差しすると、音声が途切れることがあります。

ライブラリモードに関して

ミュージックファイルを移動したら、CarryOn Musicで再生できなくなった

- CarryOn Musicに曲を登録するとファイルの格納位置情報も登録されます。
- ファイルを移動すると登録情報と実際のファイルの格納位置が異なるため、再生できなくなります。
- 移動した曲の登録を［削除］で削除してから、再度登録しなおしてください。

ハードディスク内の曲を複数登録したい

- フォルダごとパネル上にドラッグ&ドロップすれば、その中にあるミュージックファイルをまとめてCarryOn Musicに登録できます。

プレイリスト行を広げたい（狭めたい）が、方法がわからない

- プレイリスト行を広げるには、プレイリストのタイトルバーをドラッグします。「プレイリスト」の文字近辺にアイコンを持っていけば、上下の矢印のアイコンに変わりますので、そのアイコンに変わったときにドラッグしてください。

プレイリストの曲順を入れ替えたい

- プレイリストに登録された曲順は、移動したい曲を選択して入れ替えたい位置にドラッグ&ドロップすることで変更できます。なお、ライブラリの曲順については変更できません。

複数の曲を選択したい

- ライブラリからプレイリストへの登録などで複数の曲を選ぶ際は、連続した複数のトラックを選択するときは、Shiftキーを押しながらクリック、連続していない複数のトラックを選択するときは、Ctrlキーを押しながらクリックしてください。

CarryOn Musicでライン録音したデータをCD-Rに焼くときに、各トラック間に無音部を入れたい。あるいは無音部の長さを調節したい

- 「オプション」のCD作成タブを開き、「オーディオCDプリギャップサイズ」で調整することができます。

MP3形式のCDを作成時に上書き確認のダイアログが出てくる

- 同じファイル名のMP3ファイルを同じフォルダに書き込む事はできませんので、この場合、どちらかの一方のファイルを選択するか、元のファイル名を変更してください。

ライン録音/フォーマット変換モードに関して

長時間のライン入力録音の時、2GB（約200分）以上のWAVEファイルを録音できない

- WAVEファイル形式の制限で、2GBまでしか録音はできません。

ライン録音/フォーマット変換モードで録音レベルインジケーターが動作しない

- レベル調整について、録音レベルインジケーターは録音待機状態にしないと動作しません。録音の準備ができたら、シンクロ録音ボタンが点灯していないことを確認し、録音ボタンをクリックすると録音待機状態になり、録音レベルインジケーターが動作します。調整後、この状態で再生ボタンをクリックすると録音がスタートします。

ライン録音/フォーマット変換モードでシンクロ録音や、自動曲分割がうまく働かない

- シンクロ録音、自動曲分割は実際の音声に反応して動作していますので録音音源自体にノイズが混入している場合などは、うまく動作しません。この場合、曲分割については録音終了後保存する前に、手動で曲分割を行ってください。録音した曲の分割や分割の取り消しのしかたについては39ページをご覧ください。

ライン録音/フォーマット変換モードでの編集結果が実際のミュージックファイルに反映されない

- ファイル分割や、フェードイン/アウトなどの編集後は必ず右上の［SAVE］ボタンをクリックして、結果を保存してから終了してください。[SAVE] ボタンをクリックするまでの間は何度でも編集のやり直しが可能です。
- シンクロ録音、自動曲分割は実際の音声に反応して動作していますので録音音源自体にノイズが混入している場合は、うまく動作しません。

MusicIDでタイトルが取得できない、もしくは間違った曲のタイトルばかりが取得される

- 外部音源（カセットやMDなど）から録音する場合、イコライザ機能があればすべてOFFにしてください。特にポータブル機器の場合、標準で低音ブーストなどが設定されている場合があるため、必ずOFFにした状態で録音を行ってください。
- MusicIDでは前奏部分約20秒前後からタイトルを認識しますので、必ず前奏部分から録音してください。
- ラジオからのエアチェックなどで前奏時に楽曲以外の音声が被る場合は正しいタイトルの取得は出来ません。
- 曲頭の無音時間が長い場合は正しいタイトルの取得ができない場合があります。曲間のマーカーを発音直前位置まで移動させた状態で再度取得を試してみてください。
- 音源自体にノイズが含まれている場合、録音レベルが極端に小さすぎる場合や大きすぎる場合は正しくタイトルの取得ができない場合があります。

すでにハードディスクにあるミュージックファイルにもタイトルを取得したい

- ライブラリモードから曲情報取得できます。

CD-Rのライティングに関して

CarryOn MusicでミュージックファイルがCD-R/RWに焼けない

- 書き込みスピードは低速で書き込みを行う。
- メディアの種類を変える。（メディア不良の可能性）

困ったときは

ポータブルプレーヤーへの転送について

音楽を転送したが、ポータブルプレーヤーで音が鳴らない

- 本製品は、USBマスストレージクラスデバイス、MTPデバイスに対応しています。対応デバイス以外のポータブルプレーヤーでは音が鳴りません。（現在の対応プレーヤーについては弊社ホームページのサポート情報の「接続機器情報」をご覧ください。）また、条件を満たしている場合でも再生できないことがあります。

※対応プレーヤーで鳴らない場合は、ポータブルプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

その他

スペアナ（スペクトラムアナライザー）を停止したい

- 再生中に表示されているスペアナ（音の強弱に合わせて上下しているグラフィック）は、メニューバーの［表示］＞［スペアナ］で、［スペアナの表示］のチェックを外すことで停止することができます。

CarryOn Musicを常に手前に表示させたい

- 他のアプリケーションを使用している間でも、常にCarryOn Musicを手前に表示させたい場合は、モードアイコン上で右クリックして、［常に手前に表示］を選んでください。

エンコード速度が、高速、標準、高音質とありますが、なにが違うのですか？

- 高音質で行うと、より忠実なエンコードをすることができます。エンコード後のファイル容量はほとんど変わりませんが、高音質を選択すると、エンコードに時間がかかります。

製品の故障により正常に録音ができなかったことによって生じた損害（CDのレンタル料等）については保証対象になりません。大事な録音をするときは、あらかじめ正しく録音できることを確認の上、録音を行ってください。

用語集

《ア行》

イントロ

各曲のイントロ（5秒間）のみを再生します。

イコライザー

音楽を再生する際に音域を低域から高域で数段階に分割して各段階のボリュームを増減させる機能の名称です。CarryOn Musicではライブラリモード、CDモードおよびライン録音/フォーマット変換モードでの音楽ファイル再生時に音域を10段階に分割してイコライザーを利用したリスニングを楽しむことが出来ます。

エフェクターパネル

イコライザーの設定や、フェードイン・フェードアウト設定に加え、アナログ音源をクリアに録音するための機能（ノイズ除去やノーマライズなど）を盛り込んだパネルです。

オリジナルフラグ

MP3ファイルへの録音を行う際、オリジナルの判別をするためにフラグをチェックすることができます。

《カ行》

可変ビットレート（VBR）

状況に応じたビットレートでエンコードができます。全体のデータ容量を増やさずに音質を上げることができます。ただし、VBRでエンコードした曲はVBR対応のプレーヤでなければ正常に再生できません。Better CompressionからHighest Qualityまで圧縮率を選択でき、Highest Qualityに向かうほど音質を上げることができます。

クラックルノイズ

古いレコードにつきものの「プチ」というノイズで、一般的に「プチノイズ」などと呼ばれることもあります。

固定ビットレート（CBR）

ビットレート、サンプリング周波数、ステレオもしくはモノラルの各パラメータに関して、あらかじめ規定された組み合わせの条件でエンコードするときに選択します。可変ビットレートに対応していないプレーヤで再生する場合に有効な設定です。

《サ行》

サンプリング周波数

音声を録音する際に１秒あたりのA/D変換回数をサンプリング周波数と呼びます。サンプリング周波数は数字が大きい程、原音の再現度は高くなります。つまり44,100Hzより48,000Hz、さらに96,000Hzのほうが再現性は高くなりますが、その分ファイル容量は大きくなります。

シンクロ録音（SYNCHRO）

録音待機の状態で、ある一定のレベル以上の音声信号が入力された場合に、自動的に録音を開始する機能です。CDやMDなどのオーディオを録音するときに使うと、曲が始まると同時に録音をスタートできるので、とても便利です。

自動曲分割（AUTO DIVIDE）

シンクロ録音の際に、オプションボタンから任意に設定した連続無録音時間に従って自動的に曲分割してトラックを分けてくれる機能です。

自動停止（AUTO STOP）

シンクロ録音の際に、オプションボタンから任意に設定した連続無録音時間に従って自動的に録音を停止する機能です。

《タ行》

著作権フラグ

音楽CDを取り込む時、MP3ファイルに著作権フラグをつけるかどうかを決めます。

転送

CarryOn Musicでは、ライブラリからポータブルプレーヤーへの曲の移動を総称して、「転送」と呼びます。

同期転送

チェックマークの付いたライブラリの曲をポータブルプレーヤーへ転送してパソコンと同じ状態にします。

用語集

《ナ行》

ノーマライズ

ノーマライズ効果を利用すると、録音レベルが低い音楽ファイルでも音を歪ませることなく、最大レベルで録音したように全体レベルを引き上げることができます。

《ハ行》

ハムノイズ

音声・映像信号の処理中に混入する、「ブーン」という感じのノイズ音。50Hzないし60Hzの周期的な信号が混入するもので、ノイズ発生源は交流電源です。

ヒスノイズ

空のカセットテープを再生したときなどに聞こえる、「サー」という感じの高周波数のノイズ音です。

ビットレート

1秒あたりの情報量を表わす数字のことです。単位は bps（bit per second）で、「ビーピーエス」と読みます。

ポッドキャスト

CarryOn Musicに自分の好きなネットラジオ局のアドレスを登録しておくと、最新の放送内容が公開されるたびにこれを自動的に受信し、ライブラリに登録します。また、ポータブルプレーヤーにも転送できます。

フェード　イン/アウト

音楽ファイルを編集する際に使用するエフェクトのひとつで、曲の最初の音量を徐々に上げたり、途中でカットした曲の終わり方を徐々に音量を下げていくなどの表現に使うことができます。

フォーマット変換

ライブラリに登録されている曲(音楽ファイル)を機器･メディアに転送する場合などに､転送先の機器やメディアに合わせて､曲(音楽ファイル)のファイル形式やビットレートを変換することです。

フォーマット変換を行うと、音楽ファイル内の著作権情報のチェック、変換、暗号化などの必要な処理が行われます。

プリギャップ

オーディオCD/DVDでトラックの冒頭に挿入される無音部分です。

プレイリスト

CarryOn Musicのライブラリパネル画面で下段に表示されるリストです。ライブラリの中にある自分の好きな曲を好きな順番に並びかえてオリジナルのプレイリストを作成することができます。

《マ行》

マニュアル転送

ライブラリの任意の曲を選択してポータブルプレーヤーへ転送します。

《ラ行》

ライブラリ

CarryOn Musicのライブラリパネル画面で表示されるリストです。登録されている全てのミュージックファイルが表示されます。画面左側のリスト［すべて（登録日順）］、［アーティスト/アルバム］、［アルバム］、［ジャンル］、［フォーマット］の5パターンでの並び替えが可能です。また、画面右側のリスト詳細フィールド［タイトル］、［アーティスト］、［ジャンル］、［トラック番号］、［年］、［コメント］、［時間］、［評価］、［拡張子］、［ビットレート］、［ファイル名］、［サイズ］、［再生回数］、［最終再生日］、［登録日］、［変更日］で、さらに並べ替えが可能です。

量子化ビット数

アナログ信号からデジタル信号への変換（AD変換）の際に、信号を何段階の数値で表現するかを示す値です。

《アルファベット》

AAC（エーエーシー）

MPEG2やMPEG4で使用されている音声圧縮方式です。

音質はそのままに、圧縮効率を高めることができます。

A-B区間リピート

曲の指定した区間のみをリピート再生します。

CD Extra（シーディー エクストラ）

音楽CDとCD-ROMの両方の機能を兼ね備え、CDプレーヤーとパソコンのどちらでも再生を可能にしたディスクです。パソコンで再生すると、文字情報や写真、ビデオ画像などが楽しめます。

DGS（DigiOnSound）

デジオン社オリジナルの音声フォーマットです。Windows標準のWAVEファイルではファイル形式の制約で2GBまでのファイルしか作成することができません。24ビット／96kHzなどハイクオリティな曲を録音する際、録音時間が30分程度と限られてしまいます。この問題に対処するために開発された音声フォーマットです。

Gracenote MusicID（グレースノート ミュージックアイディー）

Gracenoteが提供するインターネット上の曲情報検索サービスです。このサービスを利用すると、曲を波形認識して高速かつ正確に曲情報を検索し、曲名／アーティスト名／ジャンル名などの情報をお使いのコンピュータに取り込むことができます。

M3U（エムスリーユー）

曲のプレイリスト（再生順序）を規定したファイルのことで、拡張子は ．ｍ３ｕです。ＭＰ３、WAV、WMA形式の音楽ファイルの再生順序を規定できます。

MP3（MPEG Audio Layer-3/mp3PRO）

オーディオCD並みの音質で、データ量を約10分の1に圧縮できる音声圧縮フォーマットです。そして、さらに音質と圧縮率の向上をはかった方式がmp3PROで、従来のMP3の約半分（元データの1/22）のデータ量にすることができます。MP3ファイルの再生にはMP3対応のプレイヤーが必要となります。

MTPデバイス

Media Transfer Protocol（MTP）とは、USBを前提にした、クラスドライバ相当の通信規格です。インターネット上で購入した著作権保護付きWMAコンテンツを転送および再生できるプレーヤーです。

Ogg Vorbis

ファイル容量はMP3やWMAと同程度で、可変ビットレートを基本としています。特許ライセンスやロイヤリティを必要としない、オープンな汎用オーディオ圧縮フォーマットです。

PCM（ピーシーエム）

「Pulse Code Modulation」の略で、アナログのオーディオ信号をデジタル信号に変換する方式のひとつです。CDなどで用いられている変換方式です。

RSS

RSSとは、ウェブサイトの記事の見出しや概要を配信するための技術です。「Really Simple Syndication」「Rich Site Summary」などの言葉を省略して、「RSS」と呼ばれています。RSSは、更新を頻繁に行うニュースサイトやブログ（ウェブログ）などで、更新した記事を広く知らせる目的で利用されています。

USBストレージ

USB方式でパソコンに外付けハードディスクなどを接続して、データをやりとりするための規格です。USBマスストレージクラスなどとも呼ばれています。エクスプローラなどからHDDと同様に画像や音楽ファイルの転送や削除が可能なデバイスです。

WAV（WAVE、Windows Wave File）

Windows上で音声ファイルを無圧縮で保存するファイル形式です。1分につき約10MBの容量を必要とします。

WMA（Windows Media Audio）

音声圧縮方式のひとつで、Microsoft社によって標準化されたファイル形式です。MP3同様にCD並みの音質で、WAV形式の約1/10のファイルサイズで保存する事ができます。

ショートカットキー一覧

動　作	キー	ライブラリ	CD	転送	インターネット	ポッドキャスト	ライン録音
<共通>							
再生/一時停止	Space	○	○	○	○	○	○
停止	Ctrl+S	○	○	○	○	○	○
前へ	Ctrl+B	○	○	○	○	○	×
次へ	Ctrl+N	○	○	○	○	○	×
音量上げる	F10	○	○	○	○	○	○
音量下げる	F9	○	○	○	○	○	○
ミュートする	F8	○	○	○	○	○	○
CD取り出し	Ctrl+E	○	○	○	○	○	○
ポータブルプレーヤー取り外し	Ctrl+D	○	○	○	○	○	○
ポータブルプレーヤー一覧	Ctrl+O	○	×	○	×	×	×
オプション設定	Ctrl+U	○	○	○	○	○	○
プロパティ	Ctrl+I	○	○	○	○	○	○
すべて選択	Ctrl+A	○	○	○	×	○	×
リピート	Ctrl+R	○	○	○	×	○	×
ランダム	Ctrl+L	○	○	○	×	○	×
イントロ	Ctrl+T	○	○	○	×	○	×
時間表示	T	○	○	○	×	○	×
最新の情報に更新	F5	×	○	×	○	×	×
削除	Del	○	×	○	○	○	×
ヘルプ	F1	○	○	○	○	○	○
ライブラリ	Ctrl+1	○	○	○	○	○	○
CD	Ctrl+2	○	○	○	○	○	○
転送	Ctrl+3	○	○	○	○	○	○
インターネット	Ctrl+4	○	○	○	○	○	○
ポッドキャスト	Ctrl+5	○	○	○	○	○	○
ライン録音	Ctrl+6	○	○	○	○	○	○
ミニプレーヤー	Ctrl+M	○	○	○	○	○	○

ショートカットキー一覧

動　作	キー	ライブラリ	CD	転送	インターネット	ポッドキャスト	ライン録音
＜ライブラリのみ＞							
すべて	Ctrl+Shift+1	○	×	×	×	×	×
アーティスト/アルバム	Ctrl+Shift+2	○	×	×	×	×	×
アルバム	Ctrl+Shift+3	○	×	×	×	×	×
ジャンル	Ctrl+Shift+4	○	×	×	×	×	×
フォーマット	Ctrl+Shift+5	○	×	×	×	×	×
ライブラリ/プレイリスト表示	Alt+1	○	×	×	×	×	×
ライブラリ表示	Alt+2	○	×	×	×	×	×
プレイリスト表示	Alt+3	○	×	×	×	×	×
ライブラリの検索	F3	○	×	×	×	×	×
同期設定	Ctrl+Shift+X	○	×	×	×	×	×
同期解除	Ctrl+Shift+C	○	×	×	×	×	×
＜CD＞							
取り込み指定	Ctrl+Shift+X	×	○	×	×	×	×
取り込み解除	Ctrl+Shift+C	×	○	×	×	×	×
CD取り込みを開始	Ctrl+G	×	○	×	×	×	×
＜インターネット＞							
前に戻る	Alt+←	×	×	×	○	×	×
次に進む	Alt+→	×	×	×	○	×	×
ホーム	Alt+Home	×	×	×	○	×	×
最新の情報に更新	F5	×	×	×	○	×	×
このページの検索	Ctrl+F	×	×	×	○	×	×